

建設部

# 建設総務課

課長 太田 克彦

事務事業評価票

事務事業名	県有料道路通行料金負担軽減事業
-------	-----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	県有料道路通行料金負担軽減事業

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～R2

三才山トンネルの通行料時間帯割引制度により、トンネルを利用する市民の経済的負担軽減を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

(概要)  
県が制定した「長野県有料道路利用者負担軽減事業実施要綱」に基づき、「時間帯割引回数通行券」を市が購入し、市民に販売するもの  
(事業内容)

- 長野県道路公社から市が通行券を購入 (通常料金の6割)
- 市の購入実績に応じて長野県が長野県道路公社へ負担額を支払い (通常料金の2割)
- 市が利用者に割引いて販売 (通常料金の5割)

(※実質的な負担区分 道路公社:2割 県:2割 市:1割 利用者:5割)

三才山トンネル有料道路時間帯割引通行券販売実績 (単位:枚)

	H28	H29	H30	R1	R2
普通車	103,180	100,970	97,230	92,730	23,540
軽自動車	29,390	31,560	27,930	30,630	6,730
合計	132,570	132,530	125,160	123,360	30,270

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小 **(廃止)**  
令和2年9月1日から三才山トンネルの通行料が無料化されたことに伴い事業終了

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	長野県道路公社が実施する事業に対して、市が一部を負担し実施するものであり、成果指標の設定は困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	44,061		42,400		38,720		41,480		14,600	
国・県										
利用者負担金	34,830		34,180		30,862		34,560		12,130	
その他										
一般財源	9,231		8,220		7,858		6,920		2,470	
② 人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工	3,800	人工	1,873	人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5	3,800	0.5	1,873	0.3
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	47,906		46,195		42,495		45,280		16,473	
前年度比	—		96.4%		92.0%		106.6%		36.4%	

事務事業評価票

事務事業名	中部縦貫自動車道推進事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	松本波田道路推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28～
1 松本波田道路の整備に併せて追加インターチェンジを整備することで、利便性向上及び地域活性化(企業立地促進、雇用の創出、周辺道路の渋滞緩和、緊急ネットワークの強化)を図る。 2 先線(波田～中ノ湯間)について、国、県、市で整備検討を行い、計画段階評価まで進めることで、国からの具体的なルート計画提示につなげる。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞	
1 概要	(1) 中部縦貫自動車道(長野県側) ・計画区間 島立～中ノ湯 L=約36km ・計画幅員 4車線(暫定2車線) (2) 追加インターチェンジ ・整備工事 2か所(仮称)和田IC、(仮称)新村IC (3) 先線(波田～中ノ湯間)の整備検討 ・計画区間 波田～中ノ湯 L=約27km
2 実施内容及今後の予定	(1) 追加インターチェンジの設置 ア 実施内容 4地区(島立、和田、新村、波田)及び松本臨空工業団地、大久保工場公園団地の各管理組合から2か所のIC設置に関する要望を受け、国が整備する松本波田道路の事業進捗に合わせ、地域活性化を目的に、市が事業主体となり、追加インターチェンジ(2か所)を整備する。 令和元年度は、本体事業の進捗に合わせ詳細設計を1年延伸している。 活動指標は、事業費ベースとする。令和元年度は事業の見直しを実施したため、進捗率は下がっている。 イ 今後の予定 R2 詳細設計、土質調査 2か所 R3 詳細設計、地質調査、用地測量・補償算定 2か所 R4 用地買収、補償料((仮)新村IC) R5 用地買収、整備工事((仮)新村IC)
	(2) 先線(波田～中ノ湯間) ア 実施内容 R1 国、県、市による先線整備勉強会の実施(R1.11) イ 今後の予定 R2 国、県、市による第1回先線整備検討会(R2.7) R3 先線整備検討会(予定) R4以降 計画段階評価(先線の概略ルート構造の検討)

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止 ・松本波田道路は、平成31年から関係4地区すべてで用地交渉が進められ、令和2年度から本線工事に着手をした。今後も国と連携して、計画的に進める。 ・追加ICは、予備設計を行い関係機関協議や地元説明を実施している。今後は、詳細設計を進め、適時、地元説明や関係機関協議を実施し、事業推進を図る。 ・先線(波田～中ノ湯間)は、国、県、市による先線検討会が開催され、現況の課題の整理を行った。今後は、計画段階評価に向け、先線検討会でルート案等の検討を行う。

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	—	—	松本版総合戦略

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	追加インターチェンジ設置事業進捗率(活動指標)				
指標の設定理由	成果は、供用後に発生するため、活動指標を目標値とする。				
目標値	2.2%	2.2%	3.1%	3.0%	5.0%
実績値	2.2%	2.2%	4.3%	1.5%	4.9%
達成度	100.0%	100.0%	136.5%	50.8%	98.9%
② 成果指標(指標名)	先線(波田～中ノ湯間)事業については、国、県と一緒に検討し、事業推進を図るが、事業主体である国から目標値が示されないため指標の設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	7,992	0	7,020	0	33,700
国・県					16,850
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,992	-	7,020	-	16,850
② 人件費(千円)	6152	人工 6,072	人工 6,040	人工 5,320	人工 8,239
正規	6152	0.8 6,072	0.8 6,040	0.7 5,320	0.7 8,239
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	14,144	6,072	13,060	5,320	41,939
前年度比	-	42.9%	215.1%	40.7%	788.3%

事務事業評価票

事務事業名	負担金 (道路整備・都市計画)
-------	--------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備		
—	—	—	—	松本版総合戦略			

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
国・県事業の促進を目的とする各同盟会等が行う要望活動等に対する支援により、事業の進捗を図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 国・県が行う道路整備促進のため、関係団体の要望活動等を支援 (1) 本市が事務を担当する同盟会等 ※()内は、松本市負担金額 ア 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会(44,600円) イ 中部縦貫自動車道(松本～中ノ湯間道路)建設・国道158号整備促進期成同盟会(236,000円) ウ 中部縦貫自動車道建設促進長野・岐阜連絡協議会(負担金無) エ 松本・佐久地域高規格道路建設促進期成同盟会(負担金無) オ 国道143号整備促進期成同盟会(66,000円) カ 主要地方道奈川木祖線整備促進期成同盟会(負担金無) キ 長野県道路整備期成同盟会松塩筑地区会(575,663円) (2) その他の同盟会等 ア 国道254号(佐久～松本間)道路整備期成同盟会(8,880円) イ 県道新田松本・土合松本・松本空港線整備促進期成同盟会(7,000円) ウ 関東国道協会(36,000円) エ 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会(20,000円) オ 日本道路協会(60,000円) 2 都市計画・街路事業等の推進のため、関係団体へ負担金を支払うもの (1) コンパクトなまちづくり推進協議会(30,000円) (2) 長野県都市施設協会(603,800円)

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止 各道路整備促進については、関係市村や国・県と調整を行い、効果的な要望活動が実施できるよう、引き続き支援が必要

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	国・県事業の促進を図ることを目的とした活動へ負担しているものであるが、事業主体である国・県から目標値が示されないため成果指標の設定は困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	1,476	1,390	1,408	1,532	1,688					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,476	1,390	1,408	1,532	1,688					
② 人件費(千円)	26,915	人工	26,565	人工	26,425	人工	26,600	人工	26,215	人工
正規	26,915	3.5	26,565	3.5	26,425	3.5	26,600	3.5	26,215	3.5
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	28,391		27,955		27,833		28,132		27,903	
前年度比	—		98.5%		99.6%		101.1%		99.2%	

事務事業評価票

事務事業名	補助金 (国道19号、国道158号)
-------	-----------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略			

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
<p>国が行う国道19号松本拡幅事業に対して、市の関連事業及び地元調整を行い、事業の推進を図る。</p> <p>国及び県が実施する松本波田道路及び国道158号改良事業に対して、市の関連事業及び地元調整を行い、事業の進捗を図る。</p>		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>○国が実施する国道19号松本拡幅事業の促進を図るため、「国道19号松本拡幅建設促進連絡協議会」が行う研究、調査、地元調整、要望事業等の活動に補助金を交付し、支援する。(令和2年度補助額 350,000円)</p> <p>○国及び県が実施する松本波田道路及び国道158号改良事業の促進を図るため、「国道158号改良を促進する沿線住民の会」が行う調査及び計画立案、住民へのPR、要望事業等の活動に補助金を交付し、支援する。(令和2年度補助額 100,000円)</p>
＜現状に対する認識＞
<p>第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止</p> <p>・国道19号は、国に引き継ぎ事業用地の取得及び事業進捗が図られるよう働きかけを強化する。</p> <p>・国道158号は、奈川渡改良事業及び狸平工区の事業が着手されており、今後進捗が期待できるため、地元事業推進団体に対し一層活動強化を呼びかける。</p>

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	国・県事業の進捗を図るための活動に対する補助金であるが、事業主体である国・県から目標値が示されないため成果指標の設定は困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	450	450	450	410	450
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	450	450	450	410	450
② 人件費(千円)	10766	人工 10,626	人工 10,570	7,600	人工 7,490
正規	10766	1.4 10,626	1.4 10,570	7,600	1.0 7,490
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	11,216	11,076	11,020	8,010	7,940
前年度比	—	98.8%	99.5%	72.7%	99.1%

事務事業評価票

事務事業名	交付金 (中部縦貫自動車道建設事業)
-------	-----------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	交付金

<事業の狙い>

事業計画年度

H27 ~

中部縦貫自動車道建設事業の関係4地区(島立、新村、和田、波田)が設置する各地区対策委員会が行う調査研究、地元調整等の活動を援助することにより、事業の推進を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地元4地区(島立、新村、和田、波田)が設置する対策委員会で行う調査研究、地元調整等の活動を支援することにより、中部縦貫自動車道建設事業の円滑な促進を図るため、必要に応じ、交付要綱に基づき交付金を交付する。

対象

- (1)島立地区中部縦貫自動車道対策委員会
- (2)和田地区中部縦貫自動車道対策委員会
- (3)新村地区中部縦貫自動車道対策委員会
- (4)波田地区中部縦貫自動車道対策委員会

交付金の額

1委員会当たり10万円

ただし、対象から要望がないため、令和元年度、令和2年度の交付実績はない。(※)

※全地区の設計協議が完了し、H30年度から国による個別用地交渉が地元(波田、新村地区)で本格化したことで、地権者(個人)ごとの対応となったことにより調査研究等の活動が減少したことや、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、予定していた対策地区連絡協議会の活動が中止になり各地区の負担金徴収が見送られたこと等により、各地区対策委員会の支出が減少し繰越額が例年より増加したため。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
・松本波田道路は、平成31年から関係4地区すべてで用地交渉が進められ、令和2年度から本線工事に着手されるなど、事業進捗が図られているため、今後も対策委員会で行う調査研究、地元調整等の活動を支援することにより、中部縦貫自動車道建設事業の円滑な促進を図る。

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	道路建設の円滑な促進を図るため、関係地区に交付しているものであるが、事業主体の国から目標値が示されないため、成果指標の設定は困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	200		100		100		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	200		100		100		0		0	
② 人件費(千円)	9,228	人工	9,108	人工	9,060	人工	7,600	人工	7,490	人工
正規	9,228	1.2	9,108	1.2	9,060	1.2	7,600	1.0	7,490	1.0
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	9,428		9,208		9,160		7,600		7,490	
前年度比	—		97.7%		99.5%		83.0%		98.6%	

事務事業評価票

事務事業名	負担金 (県の道路事業県管理道路)
-------	----------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	2	交通・まちづくり		
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み	○	慢性的な渋滞の緩和に向けた幹線道路等の建設の推進		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
県管理道路(国、県道)について、主要都市間道路ネットワークの整備により、渋滞対策、快適性、安全性の確保及び歩行者、自転車の安全対策等を図り、将来世代につなぐ総合的な道路整備を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
県が行う道路改良事業について、円滑な事業推進が図られるよう、関係者等との調整を行う。 道路法第52条により、県が行う街路の新設または改良する費用の一部を市町村で負担するもの 対象路線 (1) (都)内環状南線 ア 工事概要:道路築造工事等の施工 イ 負担金:62,670千円 (2) (都)出川双葉線 ア 工事概要:用地補償、用地測量の実施 イ 負担金:37,690千円 (3) (都)松本駅北小松線 ア 工事概要:物件調査・用地補償の実施、電線共同溝工の施工 イ 負担金:25,220千円 (4) (都)宮淵新橋上金井線 ア 工事概要:用地補償・物件調査の実施、電線共同溝工・仮舗装の施工 イ 負担金:40,340千円

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止 市内にある県道はそのほとんどが主要幹線として市内の交通網において重要な役割を果たしており、引き続き道路改良を進める必要性が高い。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	県が行う道路改良事業費用の一部を負担するものであり、事業主体である県から目標値が示されないため、成果指標の設定は困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	83,588	139,203	65,364	158,909	165,908
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	83,588	139,203	65,364	158,909	165,908
② 人件費(千円)	10,766	人工 10,626	人工 10,570	人工 10,640	人工 10,486
正規	10,766	1.4	1.4	1.4	1.4
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	94,354	149,829	75,934	169,549	176,394
前年度比	—	158.8%	50.7%	223.3%	104.0%



事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金 (国、県の河川、砂防事業)
-------	----------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

河川の増水や土石流などの災害の発生を未然に防ぎ、住民を洪水災害から守るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

国・県が行う砂防・河川事業の円滑な事業推進が図られるよう、関係者等の調整を図る。また、砂防・河川の建設及び整備を促進するため、各同盟会による国・県等への要望活動を支援する。※( )内は、松本市負担金額

- 1 犀川・梓川流域の砂防事業
- 2 奈良井川流域の河川整備事業
- 3 同盟会等への負担金
  - (1) 奈良井川水系河川改良促進期成同盟会(25,000円)
  - (2) 長野県治水砂防協会(1,002,727円)
  - (3) 信濃川・姫川水系砂防工事促進同盟会(269,000円)
  - (4) 犀川直轄改修期成同盟会(156,000円)
  - (5) 長野県河川協会(518,000円)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
砂防、河川事業は、河川環境の改善、防災・減災の観点から重要な事業であるため、今後も、国・県に対して積極的な要望を継続する。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	河川・砂防事業を促進するための事業であるが、事業主体である国・県から目標値が示されないため、成果指標の設定は困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	970		1,486		964		2,101		1,971	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	970		1,486		964		2,101		1,971	
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工	3,040	人工	2,996	人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4	3,040	0.4	2,996	0.4
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	4,046		4,522		3,984		5,141		4,967	
前年度比	—		111.8%		88.1%		129.0%		96.6%	

**事務事業評価票**

事務事業名	技術職人材確保事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	一般事務費

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	904	松本の魅力発信力の強化	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H27 ~
--------	-------

近年、技術系職員の採用試験受験者が減少傾向にあるなど、人材確保が課題となっていることから、学校と連携し学生に対して松本市の建設行政の魅力やPRするとともに、技術職の業務内容や採用に係る情報提供を行うことで受験者数の増加を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 技術系の学生を対象とした有給実践型インターンシップの受け入れ  
令和2年度は新型コロナウイルスの状況を鑑み実施せず  
(令和元年度は5名を受け入れ)
- 広報資料の配布  
技術職リーフレット作成 500部  
配布先:学校、個人、職員課参加の就職イベントの参加者等
- 大学・高校等へのPR  
(1) 主なPR先  
県内技術系学校4校(信大工学部・農学部、長野高専、南農高)  
(2) 内容  
就職担当に対してメールで採用試験や本事業のPRを行い、学生への周知を依頼
- オンライン座談会の開催  
(1) 夏開催(8~9月) 学生7名が参加  
(2) 冬開催(2月) 学生9名、社会人2名が参加  
(冬開催は、対象を満34歳未満の社会人まで拡充)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止

近年は技術職の採用試験受験者が少数であり、受験倍率が低い状態が続いている。今後の技術職員の退職への対応として、技術継承を適切に行うためにも、優秀な人材を確保していく必要がある。  
生活基盤の整備や災害対応に欠かすことのできない技能者・技術者の確保を地域全体の課題と捉え、民間事業者と課題を共有し、官民が連携した人材確保・担い手育成の取組みを検討する。

<指標の達成状況>		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	有給インターンシップ受入者の採用試験受験状況(受入者の次年度以降の受験状況)					
	指標の設定理由	長期のインターン受入により採用試験受験に繋げる狙いであるため。				
	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	2	1	0	0	R3以降受験
	達成度	200.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
② 成果指標(指標名)						
	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度						
① 事業費(千円)	390	533	420	493	90						
	国・県										
	利用者負担金										
	その他										
	一般財源	390	533	420	493	90					
② 人件費(千円)	769	人工 759	人工 755	人工 760	人工 1498	人工 1498					
	正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1	1498	0.2
	会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計コスト①+②	1,159	1,292	1,175	1,253	1,588						
前年度比	—	111.5%	90.9%	106.6%	126.7%						

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	美しいまち松本づくり事業 (基金積立)
-------	------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	美しいまち松本づくり事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H22 ~

「美しいまちづくり」に寄与する目的で寄附された寄附金等を積み立て、美しいまちづくりのための事業に充当する財源とするもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1	令和2年度積立額	19,400,000円
	【内訳】	
	(1) イオンリテール株式会社からの寄附金	1,580,695円
	(2) ふるさとまつもと寄附金	17,819,305円
	※ふるさとまつもと寄附金はR2年度に20,466,200円の寄附を受けた。予算不足により積立できなかった2,646,895円については、R3年度に積立を行う。	
2	令和2年度取崩額	13,168,005円 (充当先:山岳観光団体育成事業ほか)
3	令和2年度末基金残高(見込み)	910,081,416円
4	その他	基金に係る利子収入については、当該年度実施事業に全額充当(美しいまち松本づくり基金条例の規定による運用ルール)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
美しいまちづくりのための事業の財源として、引き続き本基金の有効的な活用が必要

総合評価

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	条例の規定に基づいて寄附金等を積み立てるものであり、成果指標の設定は不可				
指標の設定理由	設定は不可				
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	21,937		26,533		19,745		16,043		19,400	
国・県										
利用者負担金										
その他	21,937		26,533		19,745		16,043		19,400	
一般財源										
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工	749	人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1	749	0.1
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	22,706		27,292		20,500		16,803		20,149	
前年度比	—		120.2%		75.1%		82.0%		119.9%	

# 都市計画課

課長 神戸 順

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	許認可事務(都市計画法第53条の許可、地区計画他)
-------	---------------------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

良好な都市環境、秩序ある市街地の形成を図るため、必要な許認可を行い合わせて指導、助言する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

・都市計画法第53条	11件	・開発審査会	4件
・都市計画法第58条	5件	・大規模小売店舗立地法	0件
・都市計画法第58条の2	56件	・国土利用計画法	13件
・建築計画協議	197件	・公有地拡大法	10件
・都市計画証明	21件	・農振除外事前協議	26件
・立地適正化計画	65件	・被相続人居住用家屋等確認書	10件
・開発協議	23件	・建築審査会	0件

<主な申請内容>

○都市計画法第53条の許可

良好なまちづくりのために、あらかじめ道路や公園など(都市施設)の位置を定め、その場所では、将来支障となる建築などの行為に対し制限がかけられている。制限の場所に建築等をする場合に申請を行い、許可を受けて建築行為ができるもの。

○都市計画法第58条の2(地区計画区域内における手続き)

地区計画が定められている区域では、建築物の建築、土地の区画形質の変更や工作物の建設等(擁壁、垣・さくの設置)をする場合は、その工事着手30日前までに届出を必要がある。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 (継続)・縮小・廃止  
申請に対し適切な審査・指導・助言を行う

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	対応件数(許認可業務のため目標設定は不適切)				
指標の設定理由					
目標値					
実績値	535	535	472	571	441
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		0		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	4,438	人工	4,236	人工	3,844	人工	4,250	人工	4,197.8	人工
正規	4,153	0.54	3,947	0.52	3,549	0.47	3,952	0.52	3,894.8	0.52
会計年度任用 (フルタイム、パートタイム・2類)	285	0.1	289	0.1	295	0.1	298	0.1	303	0.1
合計コスト①+②	4,438		4,236		3,844		4,250		4,198	
前年度比	—		95.5%		90.7%		110.6%		98.8%	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業費(基礎調査および都市構造の可視化分析)
-------	------------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H27～

GISを用いて人口や土地利用などの空間分布を分析し、地域特性や経年変化などを把握することによって、都市計画等の立案及び各種政策の客観的根拠の資料となるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 都市計画基礎調査  
都市計画法第6条第1項に基づき概ね5年ごとに人口規模、土地利用、交通量などの事項に関する現況及び将来の見通しについて、県からの委託事業として調査する。(平成29年度実施、次回は令和4年度予定)
- 都市構造の可視化  
住民基本台帳データをGIS上に展開し、医療、福祉、商業、交通といった各種施設位置や危険箇所などの情報と重ねることで、都市の情報分析を行う。3年に一度、分析業務を委託し、統計資料では把握できない地域特性等を把握(市内外の人口異動(世代別・性別等)、医療や交通へのアクセス、ハザードエリア内居住者の把握など)
- 令和2年度 of 取組み(都市構造の可視化)  
・分析結果を各種計画及び施策立案に利用  
・庁内GISなどのシステムに公開し、他部局の利用促進を図り、地区診断書等作成等に活用  
・他都市における政策形成支援の取組例を研究(庁内ワーキング)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続** 縮小・廃止  
・統合型GIS再構築にあわせた政策形成支援機能の実現(視覚的分析に用いるデータの整備、オープン化の検討など)

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	周辺の自然や農地とのバランスがとれた開発が行われていると思う市民の割合				
指標の設定理由					
目標値	50.2	52.7	55.1	57.6	60
実績値	50.2	—	46.7	—	—
達成度	100.0%	—	84.8%	—	—
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		6,902		4,914		0		0	
国・県			3,781							
利用者負担金										
その他										
一般財源			3,121		4,914					
② 人件費(千円)	3,614	人工	3,567	人工	3,549	人工	3,572	人工	3,520.3	人工
正規	3,614	0.47	3,567	0.47	3,549	0.47	3,572	0.47	3,520.3	0.47
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	3,614		10,469		8,463		3,572		3,520	
前年度比	—		289.7%		80.8%		42.2%		98.6%	

事務事業評価票

事務事業名	都市計画策定事業(基本図更新)
-------	-----------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H19～
計画的土地利用による快適な都市の形成をめざすため、測量法に基づき、都市計画の基本となる松本市基本図の更新整備を行う。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 基本図(1/2,500 1/10,000)更新の目的 基本図は、庁内での使用や市民等へ販売し、観光マップや地図、資料作成など様々な用途に活用されている。 地形等は年々変化するため、定期的に情報を更新するもの。
2 基本図更新の周期 基本図(1/2,500)は182図郭に松本市を分割している。都市計画区域内は概ね5年周期、都市計画区域外は概ね7年周期で修正を行う。令和元年度は21図郭の修正、更新を行った。 基本図(1/10,000)は、基本図(1/2,500)の修正箇所をもとに修正、更新を行った。

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充 (継続・縮小・廃止)
定期的に情報更新を進め、計画的土地利用による快適な都市の形成をめざしていく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地図更新面積				
指標の設定理由	計画的更新が必要であるため。				
目標値	45.00	45.12	51.01	46.42	68.11
実績値	45.00	45.12	51.01	46.42	68.11
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	18,299	16,848	18,014	11,968	14,938					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	18,299	16,848	18,014	11,968	14,938					
② 人件費(千円)	1,846	人工	1,594	人工	1,284	人工	1,292	人工	1,273.3	人工
正規	1,846	0.24	1,594	0.21	1,284	0.17	1,292	0.17	1,273.3	0.17
会計年度任用(アルバイト、パート等(1・2類))	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	20,145		18,442		19,298		13,260		16,211	
前年度比	—		91.5%		104.6%		68.7%		122.3%	

**事務事業評価票**

事務事業名	都市中心拠点整備事業(松本城を中心としたまちづくり:都市再生整備計画)
-------	-------------------------------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	都市中心拠点整備事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度

H26～

「松本城を中心としたまちづくり」として、博物館移転と一体となり魅力的で、回遊性に富む賑わいのあるまちづくりのため、地域資源の魅力を活かした都市再生整備計画を策定し、中心市街地の活性化を図る。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

平成30年度を初年度とする「松本城を中心とした都市再生整備計画」を策定エリア内における施策と連携し総合的に整備を進める。

令和2年度の取組み

- 松本市の玄関口に相応しい通りとするため、地元町会が組織した『公園通り特別委員会』や松本市景観審議会公園通り再整備専門部会などを開催し、公園通り再整備に向けた高質化設計を行った。
- 基幹博物館整備と一体的な歩行者空間を形成するため、土手小路再整備に向けた検討や関係機関協議等を行った。
- 大名町通り再整備に向けて、新型コロナ対策道路占用特例を活用し、沿道店舗が歩道にテラス席等を設け、賑わいづくりの可能性を探った。また、専門家からアドバイスを受けた。
- 八十二銀行松本営業部ビル用地に関わる取組みを凍結した。

＜現状に対する認識＞

第11次基本計画での方向性 **（拡充・継続・縮小・廃止）**  
 ・松本城を中心としたまちづくりを推進し、三の丸エリアを世界水準の歴史観光エリアとするため、三の丸エリアビジョンを作成  
 ・駐車場等の低未利用地が増加する状況においては、都市のスポンジ化対策の検討を進め、土地所有者等に対して、より魅力的で収益性の高い土地利用のあり方の提案や実現に向けた支援策等の検討が必要

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	3	産業・経済
主な取組み	○	松本城や周辺区域の総合的整備(歴史観光エリア、セントラルパーク)
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

＜指標の達成状況＞

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	エリア内歩行者交通量(6月第1日曜10時～19時)				
指標の設定理由	回遊性を向上させ、歩きたくなる空間整備を推進するため。				
目標値	7,142	7,692	8,241	8,790	9,339
実績値	9,110	9,551	5,282	5,632	5,632
達成度	127.6%	124.2%	64.1%	64.1%	60.3%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,857		8,850		19,394		15,675		2,130	
国・県					9,690		12,340		1,040	
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,857		8,850		9,704		3,335		1,090	
② 人件費(千円)	4,076	人工	4,023	人工	4,002	人工	4,028	人工	7,490	人工
正規	4,076	0.53	4,023	0.53	4,002	0.53	4,028	0.53	7,490	1
会計年度任用(アルバイト、パート等(1・2類))	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	5,933		12,873		23,396		19,703		9,620	
前年度比	—		217.0%		181.7%		84.2%		48.8%	



事務事業評価票

事務事業名	松本市都市計画マスタープラン (区域区分見直し・用途地域等)
-------	-----------------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H25～

松本市都市計画マスタープランの改定や第7回区域区分定期見直し、松本市立地適正化計画の運用等により、適正かつ計画的な土地利用を推進し、持続可能な集約型都市構造を実現する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市都市計画マスタープランは、「市の都市計画に関する基本的な方針」を定めたものであり、市が進める都市計画はこれに即する必要があります。  
また、松本市立地適正化計画は、松本市都市計画マスタープランに掲げた「集約型都市構造の実現」を具現化するため、鉄道駅や主要バス停周辺等を中心として、将来においても一定の人口や都市機能等を維持・充実する誘導区域等を定めた計画です。誘導区域外で一定規模以上の建築を行う場合などは、届出等が義務化されます。

令和2年度の取組み

- 都市計画マスタープランの改定
  - ・広く市民や関係機関等の意見を反映するため、市民会議を設置し3回開催、庁内連絡会議を2回開催(うち、1回は区域区分見直しの報告)
  - ・計画改定支援業務委託(R元～R3)を実施
- 第7回区域区分定期見直し(定期線引き)に向けて、関係機関等と協議・調整し、計画案を閲覧
- 松本市立地適正化計画に伴う届出制度等の運用  
届出実績 都市機能誘導 2件、居住誘導 63件

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続** 縮小・廃止  
・上位計画、関連計画との整合を図りつつ、本市を取巻く新たな課題解決に向けて、松本市都市計画マスタープランの見直しを行う。  
・概ね5年ごとに立地適正化計画を評価し、適正かつ適切な土地利用が行われるように、用途地域見直しや地区計画等の活用を検討する。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	周辺の自然や農地とのバランスがとれた開発が行われていると思う市民の割合				
指標の設定理由	松本の目指すまちの姿の実現を促すため				
目標値	50.2	52.7	55.1	57.6	60
実績値	50.2	—	46.7	—	—
達成度	100.0%	—	84.8%	—	—
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		2,268		5,774		6,160		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			2,268		5,774		6,160		0	
② 人件費(千円)	1,000	人工	3,036	人工	3,020	人工	12,616	人工	12,433	人工
正規	1,000	0.13	3,036	0.4	3,020	0.4	12,616	1.66	12,433	1.66
会計年度任用 (アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	1,000		5,304		8,794		18,776		12,433	
前年度比	—		530.6%		165.8%		213.5%		66.2%	

事務事業評価票

事務事業名	都市計画審議会
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	S52～
--------	------

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

都市計画審議会とは、都市計画法に基づき、都市計画に関する事項の調査審議を行う機関である。令和2年度は3回開催  
委員は、有識者、市議会議員、関係行政機関の職員の定数22名以内(現在19名)で構成

第54回(令和2年5月27日開催)  
議案第105号 松本都市計画地区計画の変更について(小宮地区)  
報告事項 第7回区域区分定期見直しについて

第55回(令和2年12月25日開催)  
議案第106号 松本都市計画地区計画の変更について(倭工業団地地区)  
報告事項 今後の松本都市計画の変更の予定について

第56回(令和3年2月8日開催)  
議案第107号 松本都市計画道路の変更について  
(3・5・6号出川浅間線、3・6・8号末広線)  
議案第108号 松本都市計画用途地域の変更について(本郷地区)  
報告事項 第7回区域区分定期見直しについて

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続・縮小・廃止)  
・都市計画法に基づき、都市計画に関する事項の調査審議を行う

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	開催回数				
指標の設定理由	都市計画に定めるべき案件の協議のため				
目標値	4	4	4	4	4
実績値	2	2	2	2	3
達成度	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	75.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	153	144	138	137	156					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	153	144	138	136	156					
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工	1,498	人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2	1,498	0.2
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	1,691	1,662	1,648	1,657	1,654					
前年度比	—	98.3%	99.2%	100.5%	99.8%					



事務事業評価票

事務事業名	地区計画
-------	------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H4～

地域の特性を活かした魅力あるまちづくりのため、地区計画を策定し建築行為等の誘導・規制を行い、良好な住環境の保護や市街地の形成を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地区計画は、良好な住環境の創出や周辺環境と調和した工業団地の形成などを目的として、地域の特性に応じた建物の建て方ルールなどを定めた、都市計画法に基づく制度の一つ。

令和元年度までの取組み

市内39地区、延べ294、9haで都市計画決定  
(主に土地区画整理事業の実施にあわせて、住民の参加と協力のもと市が検討)

令和2年度の取組み

- 小宮地区計画の制限の内容を見直して変更決定  
敷地の道路沿いに緑地帯を整備することとした規定について、一部で管理上の支障をきたしていることから、弾力的に運用できる制限内容に変更し、権利者の適切な管理下で緑豊かな市街地の形成を図るもの。
- 倭工業団地地区計画の区域を拡大(12.4ha→12.7ha)し、変更決定合意形成が図られた周辺区域を編入し、個別の開発を未然に防ぐとともに、梓川地区の工業団地として合理的な土地利用を図るもの。
- 都市機能の維持に向けた制度検討  
信州大学周辺を対象とした地区計画制度の活用検討及び関係機関協議
- 郊外部のコミュニティ維持に向けた制度検討  
中山地区をモデルとして、地元との意見交換や検討、関係機関協議

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
・都市機能の維持充実や地域コミュニティ維持に向けて、適正な土地利用が行われるよう、今後も地域の特性に応じた地区計画制度の検討・活用が必要

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地区計画の策定箇所面積(ha)				
指標の設定理由	中小土地区画整理事業整備計画				
目標値	286	290.9	293.8	293.8	294.9
実績値	286	290.9	293.8	294.9	295.2
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.4%	100.1%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		0		0		4,413	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源									4,413	
② 人件費(千円)	6,075	人工	6,148	人工	6,116	人工	6,156	人工	6,066.9	人工
正規	6,075	0.79	6,148	0.81	6,116	0.81	6,156	0.81	6,066.9	0.81
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	6,075		6,148		6,116		6,156		10,480	
前年度比	—		101.2%		99.5%		100.7%		170.2%	

事務事業評価票

事務事業名	防災都市づくり計画
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H30～
<p>最新の基礎データを活用し、災害危険度判定の調査、公表を行い、さらに現在の防災都市計画(平成13年策定)の見直しを行うもの。                  調査結果を公表し、災害リスクの周知や自助・共助の取組み促進に活用する。                  また、様々な防災施策を含む防災都市づくり計画をまとめ、大規模地震に強いまちづくりを推進する。</p>		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>事業内容                  令和2～3年に防災都市計画(平成13年策定)の見直しを行う。                  見直しにあたっては、最新の基礎データを活用するとともに大規模地震の発生を想定し、「災害危険度判定」の調査を行う。調査結果を公表(令和2年7月)し、市民へ災害リスク情報を周知し自助・共助の取組促進に活用する。</p> <p>1 主な流れ                  平成30年度 全市的な災害特性を整理し、災害危険度判定調査を実施                  令和元年度 重点区域における詳細な災害危険度判定調査を実施                  令和2年度 災害危険度判定調査の公表等                  令和2～3年度 専門委員会を設置し、防災都市づくり計画を見直し                  令和3年度末 計画策定、公表</p> <p>2 令和2年度の取組み                  令和2年7月 災害危険度判定調査見直し結果を公表                  令和3年2月 松本市防災都市づくり計画策定専門委員会を開催                  松本市都市計画策定庁内連絡会議へ協議</p>

＜現状に対する認識＞
<p>第11次基本計画での方向性 拡充・<b>継続</b>・縮小・廃止</p> <p>・地震以外の災害を想定した計画の見直し                  (地震災害に加えて、浸水想定等を踏まえた災害リスク軽減の取組み)                  ・身近な災害リスクの周知と共有、浸水範囲における垂直避難の有効性、防災指針作成や復興事前準備検討など、ソフト対策を含めた方策案の検討</p>

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	住宅の耐震化				
指標の設定理由					
目標値	83.0%	85.0%	87.0%	89.0%	90.0%
実績値	82.2%	82.7%	83.3%	83.8%	84.2%
達成度	99.0%	97.3%	95.7%	94.2%	93.6%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度							
① 事業費(千円)	0	0	6,123	5,937	2,541								
国・県			2,500	2,300	800								
利用者負担金													
その他													
一般財源			3,623	4,710	1,741								
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	1,661	人工	1,672	人工	1,647.8	人工	1,647.8	人工	0.22
正規	0	0	1,661	0.22	1,672	0.22	1,647.8	0.22					
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0	0	0						
合計コスト①+②	0	0	7,784	7,609	4,189								
前年度比	—	—	—	97.8%	55.1%								

事務事業評価票

事務事業名	新市街地開発事業 (中小土地区画整理事業(補助金))
-------	-------------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	新市街地開発事業

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

S63~R2

土地区画整理法第3条第1項、第2項の施行者に対して、技術援助及び補助金の交付を行うことで、「健全な市街地の造成を図り、もって公共の福祉の増進に資する」ため

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

土地区画整理事業により、地区の特性を活かした住環境を整備し、健全な市街地の造成を図るため、条件を満たした区画整理組合に対して、技術援助及び補助金の交付を行う

令和2年度の状況

(単位:千円)

区分		事業費	補助金
地区名	事業内容		
岡田東 1.1ha	出来形確認測量	5,100	5,100
	換地計画	13,300	13,300
合計		18,400	18,400

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・**廃止**  
・組合施行土地区画整理事業を計画した全42地区233.7haが完了した。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	組合施行事業整備面積(ha)				
指標の設定理由	区画整理(組合施行)実施状況に対する、達成度評価が容易である				
目標値	221.6	221.6	224.7	232.7	233.7
実績値	221.6	221.6	221.6	229.7	233.7
達成度	100.0%	100.0%	98.6%	98.7%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	136,810		126,101		114,525		49,001		18,423	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	136,810		126,101		114,525		49,001		18,423	
② 人件費(千円)	25,920	人工	25,660	人工	25,600	人工	18,180	人工	6,775	人工
正規	23,070	3	22,770	3	22,650	3	15,200	2	3,745	0.5
会計年度任用 (アルバイト、パート等(1・2類))	2,850	1	2,890	1	2,950	1	2,980	1	3,030	1
合計コスト①+②	162,730		151,761		140,125		67,181		25,198	
前年度比	—		93.3%		92.3%		47.9%		37.5%	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業(景観計画の推進)
-------	-----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H20～
松本の良好な景観の保全や誘導を行うため、景観計画等に基づき事業を推進するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 景観計画 (1) 景観計画区域内行為届出 (R2年度 127件) 景観計画で定めた行為の制限事項について、工事着手30日間までに申請し、指導・助言を行う。 (2) 景観事前協議制度 (R2年度 5件) 重点的に景観形成を図る中心市街地において、工事着手120日前までに申請を行い、地域特性に応じた細やかな景観誘導を図るもの。 (3) 高さ緩和協議 (R2年度 4件) 計画に定められた基準に基づき、景観評価会にて審査を行い、高さ制限の緩和を認めている。 (4) 景観審議会 (R2年度 景観審議会2回、景観評価会9回、公園通り専門部会2回) 景観に関し必要な助言を得るため、景観審議会・専門部会を開催した。 2 風致地区条例 (R2年度5件) 松本城址、城山、浅間の3地区内における建築等に対し、都市の風致保全の観点から許可するもの。 3 再生可能エネルギー発電装置の設置等に係る届出 (R2年度 9件) 再生可能エネルギー発電設備の設置にあたり、市民相互の理解のもと、円滑な設備の設置を促すもの。

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充(継続)縮小・廃止 景観計画に基づく景観誘導をよりよく図るため、景観形成基準の充実や眺望点設定について検討を行った。令和3年度の景観計画の改定を目指す。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	-	79.2%(3.13)	-	-
達成度	115.4%	-	113.1%	-	-
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	289	435	272	299	6,512
国・県					3,124
利用者負担金					
その他					
一般財源	289	435	272	299	3,388
② 人件費(千円)	6,460	人工 8,653	人工 8,607	人工 10,564	人工 14,006
正規	6,460	0.84 8,653	1.14 8,607	1.14 10,564	1.39 14,006
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	6,749	9,088	8,879	10,863	20,518
前年度比	-	134.7%	97.7%	122.3%	188.9%

事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業費(松本市景観賞実施事業)
-------	---------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H元 ~

松本市の良好な景観の保全や誘導を行うため、優れた景観の形成に資する建築物やまちなみ、活動などを表彰する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本市景観賞の実施  
松本市らしい優れた景観に寄与する建築物やまちなみ、まちづくり活動について、広く市民から作品を募集したが、新型コロナウイルス感染症の影響により審査が行えなかった。  
・景観賞応募件数  
H30実績 22件  
R1実績 28件  
R2実績 27件 (平成元年度から実施し、累計の応募数は876件)
- 松本市景観シンポジウム  
建築士会、建築士事務所協会と共催で景観シンポジウムを開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
- 景観に関する広報  
景観賞について市ホームページやSNSで発信した。  
個々が見つけた優れた景観を写真と短文で紹介する「フォトエッセイ」講座を平成30年度から実施している。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・~~継続~~・縮小・廃止  
良好な景観の保全や誘導を行うため、市民に対する啓発を行う景観賞や景観に関する講座は引き続き行っていく必要がある。  
景観シンポジウムについては開催方法や内容を検討し、より景観に関する普及効果が高いものとしていく。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本市らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	-	79.2%(3.13)	-	-
達成度	115.4%	-	113.1%	-	-
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	820		675		704		770		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	820		675		704		770		0	
② 人件費(千円)	3,614	人工	3,719	人工	3,700	人工	3,724	人工	3,670.1	人工
正規	3,614	0.47	3,719	0.49	3,700	0.49	3,724	0.49	3,670.1	0.49
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	4,434		4,394		4,404		4,494		3,670	
前年度比	-		99.1%		100.2%		102.1%		81.7%	



事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業(屋外広告物条例の推進)
-------	--------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約		
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H20～
松本の良好な景観を保全、形成するため、松本市屋外広告物条例に基づき、屋外広告物を表示、設置する場合の基準を定め許可を行うもの。 また、屋外広告物の倒壊や落下による事故を防止するため、定期点検を義務化したほか、違反広告物については除却などの指導を行う。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
景観の重要な構成要素である屋外広告物の適正表示と良好な景観形成への誘導を図るため、許可物件の許可事務及び違反対応を行う。 ・許可申請数 (H30許可実績 417件) (R元許可実績 355件) (R2許可実績 344件)(2/22現在) ・違反処理件数 (H30実績 11件) (R元実績 10件) (R2見込 4件)(R3.2現在)

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充 (継続・縮小・廃止) 違反広告物について、区域を選定して調査を行い、実態と傾向を把握して全市的な調査の必要性について検討する。 中核市移行に伴い、屋外広告業の登録などに関する事務が県から移譲されることから、講習会を県、長野市と共催で行うほか、屋外広告業に対する指導を適切に行う。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	—	79.2%(3.13)	—	—
達成度	115.4%	—	113.1%	—	—
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	0	642	567	0	0					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源		642	567	0	0					
② 人件費(千円)	3,789	人工 11,236	人工 11,215	人工 11,294	人工 11,177					
正規	3,076	0.4	9,791	1.29	9,740	1.29	9,804	1.29	9,662	1.29
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	713	0.25	1,445	0.5	1,475	0.5	1,490	0.5	1,515	0.5
合計コスト①+②	3,789	11,878	11,782	11,294	11,177					
前年度比	—	313.5%	99.2%	95.9%	99.0%					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業(公共案内サイン整備事業)
-------	---------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H15~

公共により市街地に案内サインを設置することで、観光客を含む来街者すべてにおもてなしの心を伝えとともに、松本の良好な景観の保全や誘導を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

平成15年に策定した「松本市公共案内サイン基本計画」に基づき、多様な市民や来訪者が安心して目的地を目指せるよう、ユニバーサルデザインに沿った案内サインへと改良し、回遊性を高め中心市街地の活性化を図るもの。

- H28 庁内調整の上、施設の外国語表記について検討
- H29 公共案内サインを修正・更新(以後5年毎に見直し)
- R1からR2

- (1) 既存盤面の維持修繕
- (2) 既存盤面設置位置の検証
- (3) ピクトグラム、多言語表示に関する関係課情報共有
- R3 板面更新計画業務委託
- R4 板面更新

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 (継続・縮小・廃止)  
 インバウンドの増加により、多様な市民や来訪者が安心して目的地を目指せるようユニバーサルデザインに沿った案内サインに改良し、回遊性を高め、中心市街地の活性化を図る事が必要。  
 また、旧開智学校の国宝化や基幹博物館・内環状北線の整備等、地図へ追加すべき情報への対応も必要。

総合評価

B

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	-	79.2%(3.13)	-	-
達成度	115.4%	-	113.1%	-	-
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		4,028		364		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		4,028		364		0		0	
② 人件費(千円)	912	人工	828	人工	529	人工	532	人工	524	人工
正規	769	0.1	683	0.09	529	0.07	532	0.07	524	0.07
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	143	0.05	145	0.05	0	0	0		0	
合計コスト①+②	912		4,856		893		532		524	
前年度比	-		532.7%		18.4%		59.6%		98.6%	

事務事業評価票

事務事業名	街なみ修景事業
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	街なみ修景事業

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H元～
修景補助により良好な街なみ形成を促すもの。特に松本城三の丸地区では、博物館の移転、南西外堀復元など、大型公共事業が予定されているため、まちづくり協定を活用した民間活力導入など、松本城三の丸地区整備基本方針に基づいた一体的な整備を促進するもの。	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

まちづくり協定に基づき建物のファサード(道路に面する正面の部分)修景を行う場合に整備費用に対して一部補助を行うもの。

- 補助額 整備費の2/3 上限300万円
- 対象地区 お城周辺地区まちづくり推進協議会第2ブロック
- 国補 社会資本総合交付金事業で事業を実施

※活動指標は、補助件数をもって行うが、補助の有無にかかわらず、街なみ修景基準を普及し、良好な景観形成を目指す。

経過  
H29: 建築士会に委託し、修景基準案をまちづくり推進協議会へ提示  
H30: お城周辺地区第2ブロックの修景補助を開始(実施件数2件)  
R1: 実施件数1件  
R2: 実施件数3件

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続** 縮小・廃止

三の丸エリアは、内環状北線や外堀復元、基幹博物館、市役所新庁舎、大名町通りなどの大型事業が予定され、次年度は三の丸エリアビジョンをとりまとめる。松本の顔となるエリアとして相応しい建物となるように今後も修景補助を実施する。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	景観に配慮した三の丸協定区域内のファサードの増加数					
	指標の設定理由	ファサードの修景により良好な街なみの形成が図られるため				
	目標値	0.0	0.0	3.0	8.0	13.0
	実績値	0	0	2	1	3
	達成度			66.7%	12.5%	23.1%
② 成果指標(指標名)						
	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	0	1,792	3,071	1,736	9,530	
	国・県		1,523	860	4,500	
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	1,792	1,548	876	5,030	
② 人件費(千円)	0	人工 1,594	人工 1,586	人工 1,596	人工 1,573	
	正規	0	0.21	0.21	0.21	0.21
	会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	0	3,386	4,657	3,332	11,103	
前年度比	—	—	137.5%	71.6%	333.2%	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	市街地開発事業費 (施設管理事業)
-------	----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市街地開発事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H27～

中心市街地を車から、人主体のまちなかを歩きやすい通りに転換を図る上で道路の空間構成の変更と共に、まちなかのオープンスペースを中心に、緑陰の確保、ベンチ、テーブル等の休憩施設の整備、再配置を行うことで有効に活用される良質な憩いの空間を創出し、まちなかに滞留が生まれ、中心市街地の活動、活性化が生まれる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地域の魅力を向上させ、まちなかの人口誘導により活性化を図るため、本市の特色である湧水箇所など多くの人が訪れる場所や、小公園等、中心市街地の活性化を推進するもの。

1 R2までの取組み

- (1) 水と緑の空間整備事業  
中心市街地の公共の井戸、公共空間の小公園、緑地の整備  
整備箇所 24カ所
- (2) 指定管理施設(完全利用料金制)  
中町蔵シツク館(指定管理者:中町(蔵のある)まちづくり推進協議会)  
下町会館(指定管理者:お城下町まちづくり推進協議会)
- (3) (仮称)枳形跡広場(行政財産目的外使用)  
大手門枳形があった旧鶴林道書店跡地について、埋蔵文化財調査をするまでの間、民間事業者の活用可能な広場として運用するもの。

R2年度 33件

2 R3以降の取組み

- (1) 水と緑の空間整備事業:整備済み箇所の維持管理
- (2) 指定管理施設、枳形跡広場:まちの賑わいに資する継続的な運用

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続・縮小・廃止)  
水と緑の空間整備事業については、整備済み箇所の維持管理を行う。  
指定管理施設については、経年による外壁の亀裂等不具合力所があることから、改修を行う必要がある。  
枳形跡広場の利活用向上や泥濘化・飛砂防止対策を図るため、地元や利用者とともに検討を進める。

総合評価

B

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
指標の設定理由	施設管理の実態が市民に浸透しているか定量的に評価するため				
目標値	76%	76%	76%	76%	76%
実績値	61.5%(2.94)	-	60.2%(2.89)	-	-
達成度	80.9%	-	79.2%	-	-
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,920		4,426		17,857		4,540		5,878	
国・県					1,760					
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,920		4,426		16,097		4,540		5,878	
② 人件費(千円)	5,529	人工	5,526	人工	5,536	人工	5,578	人工	5,545.3	人工
正規	4,076	0.53	4,023	0.53	4,002	0.53	4,028	0.53	3,969.7	0.53
会計年度任用 (フルタイム、パートタイム・2類)	1,454	0.51	1,503	0.52	1,534	0.52	1,550	0.52	1,575.6	0.52
合計コスト①+②	11,449		9,952		23,393		10,118		11,423	
前年度比	-		86.9%		235.1%		43.3%		112.9%	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	歩いてみたい城下町まちづくり事業
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市街地開発事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H22 ~ R2

お城周辺5地区の推進協議会エリアにおける次世代交通政策実現のため、道路の機能別配置、空間の再配置により、歩行者、公共交通を優先する道路整備を行う。

また、「三の丸地区のまちづくり」による整備との整合を図りながら事業を実施する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

国宝松本城とその城下町の街道筋に代表される中心市街地5地区のまちづくり推進協議会が「歩いてみたい城下町まちづくり連合会」を組織し、各地区の特徴、個性を尊重しながら道路整備路線を地区まちづくり推進協議会と共に選定し、車優先から人優先の道路整備(道路美装化、高質化)を実施するもの。

R2実施箇所

出居番町	112m
伊織霊水前	71m
上土団地前	109m

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・**廃止**  
5つのまちづくり推進協議会とともに道路高質化を図ってきたが、中心市街地において主要な回遊動線の事業が完了したことから、今年度で事業廃止とする。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
指標の設定理由	施設整備の実態が市民に浸透しているか定量的に評価するため				
目標値	76.0	76.0	76.0	76.0	76.0
実績値	61.5	-	60.2	-	-
達成度	80.9%	-	79.2%	-	-
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
① 事業費(千円)	25,303	100,920	103,594	126,450	86,823			
国・県	12,385	41,470	51,492	62,975	43,411			
利用者負担金								
その他								
一般財源	12,918	59,450	52,102	63,475	43,412			
② 人件費(千円)	7,756	人工 7,659	人工 7,622	人工 7,673	人工 8,239			
正規	7,613	0.99	7,514	0.99	7,524	0.99	8,239	1.1
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	143	0.05	145	0.05	149	0.05	0	0
合計コスト①+②	33,059	108,579	111,216	134,123	95,062			
前年度比	-	328.4%	102.4%	120.6%	70.9%			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市計画課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	まち歩き推進事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まち歩き推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H30 ~

市民や来街者がまちを知り楽しむ機会を創出し、まちづくりへの関心を引き付けるとともに、多様な分野の専門家等へ講師等として関わってもらうことで、専門的な知識を得て、まちづくりに協力的な人材を増やす。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

中心市街地のまちづくりを担う、あるいは関わる人材を増やすことを目的とし、まち歩きやワークショップ、講座等を企画運営することで、市民や来訪者が楽しみながら学習する機会を創出する。

松本のまちを深く知り楽しむことで、主体的に関わりたいと思う気持ちやシビックプライドを醸成し、次世代のまちづくりへ繋げるもの。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、都市デザインツアーについては中止した。

1 松本の風景を伝える街歩きエッセイ講座(1回)

講師 あをぐみ 大輪俊江氏

参加者 6名

2 松本看板学講座(4回)

講師 都市計画家 倉沢聡氏、建築家 長谷川繁幸氏、イラストレーター 高田美果氏

参加者17名

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・~~縮小~~・廃止

各講座で展開している取組みが継続・発展しながら自立するよう、関係機関と調整する。また、講座実施の際は配布資料のデジタル化やスマートフォンを積極的に活用したものとする。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
指標の設定理由	まちづくりへの理解者をを定量的に評価することが困難なため				
目標値	76.0	76.0	76.0	76.0	76.0
実績値	61.5	-	60.2	-	-
達成度	80.9%	-	79.2%	-	-
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	0	0	175	226	86					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			175	226	86					
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	923	人工	912	人工	899	人工
正規	0	0	0	923	0.12	912	0.12	899	0.12	
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計コスト①+②	0	0	1,098	1,138	985					
前年度比	-	-	-	103.7%	86.5%					

# 建設課

課長 赤間 善浩

事務事業評価票

事務事業名	村井駅周辺整備事業
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	村井駅周辺整備事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H19～R5
交通結節点であるJR村井駅や周辺地域における交通利便性・快適性を高め、徒歩や自転車で自由に移動できる、安全で安心なまちづくりを実現するための交通環境改善計画を策定し事業を実施する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>村井駅の東西自由通路及び駅施設やアクセス道路整備などについて、平成19年度より地元要望も踏まえ調査・検討を進めている。</p> <p>平成28年度には基本計画に着手し、令和2年度にはJR東日本との協定により東西自由通路と橋上駅舎の実施設計が完了し、令和3年度より起工し4年度中の一部供用開始を目指し工事を進める。</p> <p>事業費の内訳                  平成29年度：村井駅整備基本計画                  30年度：東西自由通路・駅舎基本設計                  令和元年度：東西自由通路・駅舎実施設計、駅前広場概略設計                  2年度：東西自由通路施工協定締結、駅前広場実施設計 他</p> <p>令和2年度の取組み                  (1) JR東日本との協定に基づき、東西自由通路と駅舎の実施設計を完了                  (2) JR東日本と施工協定を締結                  (3) 東西駅前広場と西口アクセス道路の詳細設計を実施                  (4) 駐輪場解体工事の実施及び用地補償について、補償算定など進めた。                  (5) 地元組織である村井駅整備推進協議会の役員会及び地元説明会を各1回開催                  (6) 鉄道事業者等の関係機関で構成する村井駅周辺整備連絡協議会を3回開催</p>

第11次基本計画での方向性	拡充・ <del>継続</del> ・縮小・廃止
JR、JR貨物との用地交渉に時間を要し事業進捗が遅れている。 自由通路や駅舎整備を行うJR東日本との工程調整を綿密に行うとともに、国、県と協議し、合理的かつ現実的な事業計画の見直しを行い、現計画の期間延長と2期計画の策定を行う。 また、駅施設に設置される多目的スペースの利用方法について、地元、関係者と協議し決定する。	

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略		

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	村井駅利用者数(1日当たり平均値)				
指標の設定理由	駅及び周辺施設の利便性向上を図るため				
目標値	3,402	3,552	3,600	3,600	3,600
実績値	3,402	3,566	4,028	4,038	3,482
達成度	100.0%	100.4%	111.9%	112.2%	96.7%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)		0	28,512	16,261	227,700	223,730					
	国・県		8,856	2,370	22,130	84,670					
	利用者負担金										
	その他										
	一般財源		19,656	13,891	205,570	139,060					
② 人件費(千円)	1,615	人工	2,429	人工	4,757	人工	8,968	人工	9062.9	人工	
	正規	1,615	0.21	2,429	0.32	4,757	0.63	8968	1.18	9062.9	1.21
	会評年度在角 (フルタイム、パートタイム・2類)										
	合計コスト①+②	1,615	30,941	21,018	236,668	232,793					
	前年度比	—	1916.0%	67.9%	1126.1%	98.4%					



事務事業評価票

事務事業名	歩行空間あんしん事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	歩行空間あんしん事業

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H19～R9
波打ち歩道の改修を中心に、市民生活に直結した道路環境の整備を図り、子どもから高齢者や障害者のすべての人が歩きやすい歩行空間を確保する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 事業内容
(1) マウントアップの歩道について、改修により車道との段差を無くすことにより、宅地などの出入口部分の波打地を解消する。 全体計画 波打ち歩道の改修 L=14, 200m
(2) 狭隘な道路で、側溝に蓋掛けをすることで歩行者の通行空間を確保する。
2 令和2年度事業
(1) 波打ち歩道の改修
・市道5626号線(宮田) L=151m W=2.0m
(2) 路肩整備(側溝の蓋掛け)
・市道3546号線(里山辺) L= 97m
・市道6572号線(神林) L= 96m
・市道4070号線他(寿台) L=260m

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充＜継続・縮小・廃止
歩行空間の安全確保の要望は多く、今後も計画的に事業を進める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	波打ち歩道の改修率				
指標の設定理由	計画改修延長に対する進捗状況を数値化				
目標値	47.0%	49.9%	53.1%	56.2%	60.0%
実績値	48.5%	52.9%	57.7%	59.9%	60.9%
達成度	103.2%	106.0%	108.7%	106.6%	102%
② 成果指標(指標名)	交通事故死傷者数				
指標の設定理由	松本市交通安全計画で目標としている数値と現状との比較				
目標値	1,608	1,544	1,479	1,415	1,350
実績値	1,701	1,557	1,337	1,219	848
達成度	94.5%	99.2%	110.6%	116.1%	159.2%

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	79,045	64,433	44,166	37,422	48,335
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	79,045	64,433	44,166	37,422	48,335
② 人件費(千円)	7,690	7,590	6,040	6,080	5,992
正規	7,690	7,590	6,040	6,080	5,992
会計年度任用(アルバイト、パート等)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	86,735	72,023	50,206	43,502	54,327
前年度比	—	83.0%	69.7%	86.6%	124.9%

事務事業評価票

事務事業名	単独交通安全施設等整備事業
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独交通安全施設等整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

交通安全施設等の整備をすることにより、道路の交通環境を改善し、交通事故の防止と交通の円滑化を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業内容及び令和2年度事業

- (1) 交差点改良事業  
道路形状等により危険性が高い交差点を改良する。  
・市道5033号線(井川城) 工事測量
- (2) 歩道設置事業  
歩道を新設し歩行空間の安全確保を行う。  
・市道2542号線(中央四丁目) 工事
- (3) 生活ゾーン交通安全対策事業  
ゾーン30により歩行者、自転車、公共交通を優先する区域を設定し、整備を行う。  
・ゾーン30設定(警察が設定)  
寿小周辺(3箇年に分けて設定)  
・ゾーン30整備(警察が設定した翌年、周辺の整備を実施)  
寿小周辺、筑摩野中周辺 看板設置、路面標示
- (4) 交通安全施設整備  
各地区や市民からの交通安全施設の要望により設置を行う。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充<継続・縮小・廃止>  
・ゾーン30について認識のない市民も多く、区域内の整備だけでなく、市民へ意義や規制区域の周知を図る必要がある。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	2	交通・まちづくり
主な取組み	○	右折レーンの増設、中心市街地の交通の再設計
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	交通事故死傷者数(人)				
指標の設定理由	松本市交通安全計画で目標としている数値と現状との比較				
目標値	1,608	1,544	1,479	1,415	1,350
実績値	1,701	1,557	1,337	1,219	848
達成度	94.5%	99.2%	110.6%	116.1%	159.2%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	71,803		75,876		103,916		160,620		84,974	
国・県							800			
利用者負担金										
その他										
一般財源	71,803		75,876		103,916		159,820		84,974	
② 人件費(千円)	15,380	人工	15,180	人工	15,100	人工	15,200	人工	13,482	人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	15,200	2	13,482	1.8
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	87,183		91,056		119,016		175,820		98,456	
前年度比	—		104.4%		130.7%		147.7%		56.0%	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	交通安全対策事業(防災安全) (交差点改良事業)
-------	-----------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策事業費(防災安全)

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	2	交通・まちづくり
主な取組み	○	右折レーンの増設、中心市街地の交通の再設計
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

H26～R7

交差点の道路形状が悪く、事故の危険性の高い交差点の改良を行い、交通事故の防止と交通の円滑化を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 事業内容  
市道2058・2068号線 清水1・2丁目  
県道の(都)宮瀬新橋上金井線改良工事に合わせ市道部の交差点改良を行う。  
・全体延長 L=80m ・幅員 W=16.0m
- 令和2年度事業  
・補償物件 下水道施設

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充<継続・縮小・廃止  
・県事業に合わせ交差点整備を行うため、交差点部の早期着手を県へ働きかけていく。

総合評価

C

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率(事業費)				
指標の設定理由	全体の目標数値に対する進捗を数値化				
目標値	20.6%	31.7%	55.6%	89.2%	100.0%
実績値	3.6%	32.3%	54.6%	58.0%	59.2%
達成度	17.5%	101.9%	98.2%	65.0%	59.2%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	843		80,110		31,044		38,993		1,771	
国・県			43,040		17,074		21,442		969	
利用者負担金										
その他										
一般財源	843		37,070		13,970		17,551		802	
② 人件費(千円)	769	人工	1518	人工	1510	人工	1,520	人工	749	人工
正規	769	0.1	1518	0.2	1510	0.2	1520	0.2	749	0.1
会計年度任用 (フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	1,612		81,628		32,554		40,513		2,520	
前年度比	—		5063.8%		39.9%		124.4%		6.2%	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	交通安全対策事業(防災安全) (歩道設置事業)
-------	----------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策事業費(防災安全)

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H30～R2

歩行者の安全・快適性を確保するため、歩行者と車両を分離し、新たに歩道を設置する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地元要望による歩道整備の中で、通学路等の条件により国の補助対象となった市道の歩道整備を行うための事業で、現在は下記事業のみ実施中。

1 事業内容

市道梓川1級3号線(梓川倭)  
梓川小学校の通学路の安全確保として、歩道整備を行っている  
・全体延長 L=77m 幅員 W=7.0m(片側歩道2.0m)

2 年度別事業

平成30年度 工事測量、用地測量  
令和元年度 工事(水路工)、用地購入、補償(電柱移設)  
令和2年度 工事(歩道設置)、補償(看板移設)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止  
・今後も歩行者の安全確保に向け、計画的に歩道整備を進めていく。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市道梓川1級3号線事業の進捗率(事業費)				
指標の設定理由	全体の目標数値に対する進捗を数値化				
目標値			18.9%	61.0%	100.0%
実績値			18.9%	61.0%	100.0%
達成度			100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)					4,850		10,842		5,884	
国・県					0		5,963		3,231	
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		0		4,850		4,879		2,653	
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	2265	人工	2,280	人工	749	人工
正規	0		0		2265	0.3	2280	0.3	749	0.1
会計年度任用 (アルバイト、パート等(1・2類))	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	0		0		7,115		13,122		6,633	
前年度比	—		—		—		184.4%		50.5%	

事務事業評価票

事務事業名	道路改良事業(社会資本)
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(社会資本)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞ 事業計画年度 H21～R3

本路線は、松本市総合都市交通計画において、北部と南部を結ぶ中環状線に位置付けており、道路整備により、市街地と郊外のアクセス向上及び交通の円滑化を図る。  
また、本路線の整備により、交通分散による市街地の混雑緩和や市民(歩行者)の安全を確保する。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

国の交付金を活用した幹線道路整備事業として、中環状線の市道7003号線及び南北幹線の市道5005号線を整備

- 市道7003号線(島立)
  - 事業年度 H21～R4
  - 事業量
    - ア 総延長 L=1,040m W=15.0m
    - イ R元までの施工延長 L= 600m
    - ウ R2事業内容 工事 L= 90m、用地補償、補償算定
- 市道5005号線(笹部4丁目)
  - 事業年度 H26～R9
  - 事業量
    - 総延長 L= 420m W=11.0m
    - R4から本格着手

＜現状に対する認識＞

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
財源確保に努め、早期整備に向け取組みを進めます。

総合評価	B
------	---

＜指標の達成状況＞		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合(第10次基本計画)					
	指標の設定理由	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保				
	目標値	75.5	76.0	76.6	77.1	77.6
	実績値	75.0	75.3	75.6	75.9	76.1
	達成度	99.3%	99.1%	98.7%	98.4%	98.1%
② 成果指標(指標名)						
	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)		258,916	139,237	171,946	177,440	140,397
	国・県	142,412	76,531	85,967	88,710	70,171
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	116,504	62,706	85,979	88,730	70,226
② 人件費(千円)		5,768	5,313	6,989	5,618	5,992
	正規	5,768	0.75	6,871	0.91	5,320
	会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0	0	118	0.04	298
合計コスト①+②		264,684	144,550	178,935	183,058	146,389
	前年度比	—	54.6%	123.8%	102.3%	80.0%

事務事業評価票

事務事業名	道路改良事業(防災安全)
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(防災安全)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H21～R2
--------	--------

歩道の新設を含めた道路整備により、市民の利便性と安全の確保、及び交通の円滑化を図る。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

国の交付金を活用した主要道路の歩行者の完全性確保のため、新たな歩道設置を含め2車線の道路整備

- 市道波田98号線(波田 森口)
  - 事業年度 H20～R4
  - 事業量
    - ア 総延長 L=2,037m W=9.5m
    - イ R元までの施工延長 L=1,694m
    - ウ R2事業内容 工事 L= 130m、用地補償、補償算定
- 市道2181号線(浅間温泉2丁目)
  - 事業年度 H28～R4
  - 事業量
    - ア 総延長 L=320m W=9.5m
    - イ R元事業内容 工事(R2へ繰越)L= 146m、用地補償、補償算定
    - ウ R2事業内容 工事 用地補償、補償算定
- 市道5520号線(渚2丁目)
  - 事業年度 H24～R7
  - 事業量
    - ア 総延長 L=160m W=9.5m

＜現状に対する認識＞

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**縮小・廃止  
財源確保に努め、早期整備に向け取組みを進めます。

＜指標の達成状況＞

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合(第10次基本計画)				
指標の設定理由	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保				
目標値	75.5	76.0	76.6	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.6	75.9	76.1
達成度	99.3%	99.1%	98.7%	98.4%	98.1%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	68,378	61,018	86,777	332,800	97,188					
国・県	37,600	33,544	47,697	183,000	53,449					
利用者負担金										
その他	30,700	18,600	31,300	105,700	23,000					
一般財源	78	8,874	7,780	44,100	20,739					
② 人件費(千円)	13,073	人工 7,590	人工 8,650	人工 7,898	人工 16,478					
正規	13,073	1.7	7,590	1	8,532	1.13	7,600	1	16,478	2.2
会計年度任用(フルタイム、パート含む+2類)	0	0	118	0.04	298	0.1	0			
合計コスト①+②	81,451	68,608	95,427	340,698	113,666					
前年度比	—	84.2%	139.1%	357.0%	33.4%					

事務事業評価票

事務事業名	道路改良事業費(過疎対策)
-------	---------------

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(過疎対策)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み				
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<事業の狙い>	事業計画年度	H28 ~ R7
過疎対策地域の四賀地区から整備要望のある市道を拡幅改良し、緊急車両が通行可能な安全・安心な生活環境を確保する。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>	
四賀地区(過疎対策地域)の道路整備	
1 市道下原線(板場)	
(1) 事業年度 H28~R3	
(2) 事業量	
ア 総延長L=220m W=4.0m	
イ R元事業内容 工事測量	
ウ R2事業内容 用地測量、補償	
2 市道下小瀬農協線(赤怒田)	
(1) 事業年度 H30~R3	
(2) 事業量	
ア 総延長 L=400m W=4.0m	
イ R元事業内容 用地測量、補償算定、補償	
ウ R2事業内容 工事L=200m、補償算定、補償	
3 市道向原線(反町)	
(1) 事業年度 H30~R3	
(2) 事業量	
ア 総延長 L=270m W=4.0m	
イ R元事業内容 用地測量	
ウ R2事業内容 工事L=240m、補償、修正設計	
4 市道長越1・2号線(長越)	
(1) 事業年度 R2~R7	
(2) 事業量 L=230m W=4.0m	
ア R2事業内容 工事測量	

<現状に対する認識>
第11次基本計画での方向性 拡充・ <b>継続</b> ・縮小・廃止
地元調整及び関係機関との協議が重要である。
特に沿線住民の全員の同意をもとに事業を進めるもの。

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	緊急車両がスムーズに通行出来る様に整備(事業費ベースでの進捗率)				
指標の設定理由	早期の効果発現のため事業進捗率を目標とする。				
目標値	1.4%	8.4%	14.7%	24.1%	60.2%
実績値	1.2%	8.2%	14.5%	23.9%	60.0%
達成度	85.8%	97.6%	98.6%	99.1%	99.7%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>										
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,045		17,301		15,458		23,085		89,150	
国・県										
利用者負担金										
その他	3,000		17,300		15,400		22,900		88,900	
一般財源	45		1		58		185		250	
② 人件費(千円)	1,538	人工	3,795	人工	1,812	人工	2,426	人工	9,737	人工
正規	1,538	0.2	3,795	0.5	1,812	0.24	2,128	0.28	9,737	1.3
会計年度任用(フルタイム、パート含む1・2類)	0		0		0		298	0.1	0	
合計コスト①+②	4,583		21,096		17,270		25,511		98,887	
前年度比	—		460.3%		81.9%		147.7%		387.6%	

事務事業評価票

事務事業名	単独新設改良事業
<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独新設改良事業

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い> 事業計画年度 S62 ~ R5

狭隘な生活道路を拡幅改良することにより、沿道の生活環境の向上と緊急車両の通行等、市民の安全を確保する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地元要望のある生活道路を主に、道路整備(42路線)

1 実施内容  
R元実施  
工事、用地補償、委託等 20路線 C=275,080千円  
整備延長 9路線 L=1,041m  
R2実施  
工事、用地補償、委託等 13路線 C=219,210千円  
整備延長 5路線 L=440m

2 全体計画(実施計画第51号)  
他事業関連 5路線 (4路線)  
国道19号関連 1路線  
空港関連 4路線 (1路線)  
生活道路一般 25路線 (8路線)  
交付金事業単独分 7路線 (4路線)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)縮小・廃止  
地元調整及び関係機関との協議が重要である。  
特に沿線住民の全員の同意をもとに事業を進めるもの。  
対象路線数が多いことから、危険箇所・事業効果を検証し、優先度の高い路線から計画的に整備する。

<指標の達成状況> 総合評価 B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	整備された生活道路の割合				
指標の設定理由	市民生活に密着した生活道路の整備進捗(整備割合)を指標とする。				
目標値	37.7%	40%	48%	56%	63%
実績値	37.7%	40%	48%	56%	63%
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	175,252		160,346		237,658		275,080		217,129	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	175,252		160,346		237,658		275,080		217,129	
② 人件費(千円)	48,434	人工	52,713	人工	50,331	人工	48,020	人工	41,944	人工
正規	47,294	6.15	48,956	6.45	49,151	6.51	47,424	6.24	41,944	5.6
会計年度任用(フルタイム、パート含む1・2類)	1,140	0.4	3,757	1.3	1,180	0.4	596	0.2	0	
合計コスト①+②	223,686		213,059		287,989		323,100		259,073	
前年度比	—		95.2%		135.2%		112.2%		80.2%	



事務事業評価票

事務事業名	橋りょう整備事業(社会資本)
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	橋りょう整備事業(社会資本)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H20～
--------	------

①市道7003号線の改良⇒月見橋の架け替え⇒奈良井川右岸の市道5005号線の拡幅により、中環状線としての機能を確保する。  
 ②月見橋を架け替えることにより、右折レーンの確保による交通の円滑化と、両側に歩道を設置することによる歩行者の安全確保が図られる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

国の交付金を活用し、月見橋の架替えを行う。

1 市道7553号線 月見橋

(1) 事業年度 平成26年度から令和9年度まで  
 (2) 概要 橋りょう架替工 L=157.7m, W=15.0m  
 (3) 総事業費 C=2,142,530千円  
 (4) 実績  
 R元年度 用地測量、補償算定  
 R2年度 用地補償

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
 財源確保に努め、早期整備に向け取組みを進めます。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)					
	指標の設定理由	将来に向けた橋りょう整備の軸となる橋梁修繕完了橋梁数を指標とする				
	目標値	14	23	35	37	41
	実績値	14	21	26	29	39
	達成度	100.0%	91.3%	74.3%	78.4%	95.1%
② 成果指標(指標名)						
	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
① 事業費(千円)	0		0		61,568		12,492		80,091		
	国・県						12,492		40,043		
	利用者負担金										
	その他										
	一般財源				61,568				40,048		
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工	8,988	人工	
	正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2	8,988	1.2
	会計年度任用 (フルタイム・パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	1,538		1,518		63,078		14,012		89,079		
前年度比	—		98.7%		4155.3%		22.2%		635.8%		

事務事業評価票

事務事業名	橋りょう長寿命化事業(防災安全)
-------	------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	橋りょう長寿命化事業(防災安全)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H20～
橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕・架替えを行い、耐用年数の延伸を図ることにより、将来的な財政負担の低減、橋梁修繕費の平準化及び道路交通の安全性の確保を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞	
国の交付金を活用し、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した危険な橋りょうの修繕及び架替えを行う	
1 橋梁長寿命化事業……(補修工事10橋完了 補修設計12橋 C=221,070千円)	事業年度 H20～ 事業量 480橋 総事業費 C=2,678,420千円
2 橋梁架替事業	事業年度 R4～ 事業量 3橋 総事業費 C=192,900千円

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充(継続・縮小・廃止) 財源確保に努め、早期整備に向け取組みを進めます。 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、長期的なコスト、事業費の平準化など、より効率的な事業を実施する。 また、利用頻度が低く危険な橋は、廃橋についても検討し、事業を進めていく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
指標の設定理由	将来に向けた橋りょう整備の軸となる橋梁修繕完了橋梁数を指標とする				
目標値	14	23	35	37	41
実績値	14	21	26	29	39
達成度	100.0%	91.3%	74.3%	78.4%	95.1%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	144,007	289,916	204,347	212,740	221,070					
国・県	79,010	159,255	111,485	117,000	121,587					
利用者負担金										
その他										
一般財源	64,997	130,661	92,862	95,740	99,483					
② 人件費(千円)	22,473	22,391	19,744	21,496	28,462					
正規	20,763	2.7	22,391	2.95	18,800	2.49	20,900	2.75	28,462	3.8
会計年度任用(フルタイム・パートタイム・2類)	1,710	0.6	0	944	0.32	596	0.2	0		
合計コスト①+②	166,480	312,307	224,091	234,236	249,532					
前年度比	—	187.6%	71.8%	104.5%	106.5%					

事務事業評価票

事務事業名	橋りょう整備事業(辺地対策)
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	橋りょう整備事業(辺地対策)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H31～
--------	------

橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕・架替えを行い、耐用年数の延伸を図ることにより、将来的な財政負担の低減、橋梁修繕費の平準化及び道路交通の安全性の確保を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

安曇地区(過疎対策地域)の老朽化した危険な橋りょうについて、辺地債を活用し、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、架替えを行う。

1 市道沢渡2号線 湯川1号橋

(1) 事業年度 平成31年度から令和6年度まで

(2) 概要 橋りょう架替工 1式

(3) 総事業費 C=257,220千円

(4) 実績

R元年度 予備設計 L=49.1m W=6.5m

R2年度 詳細設計 L=49.1m W=6.5m

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続 縮小・廃止

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、長期的なコスト、事業費の平準化など、より効率的な事業を実施する。  
また、利用頻度が低く危険な橋は、廃橋についても検討し、事業を進めていく。

<指標の達成状況>

		総合評価		B	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
指標の設定理由	将来に向けた橋りょう整備の軸となる橋梁修繕完了橋梁数を指標とする				
目標値	14	23	35	37	41
実績値	14	21	26	29	39
達成度	100.0%	91.3%	74.3%	78.4%	95.1%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	0	0	0	13,900	26,180
国・県					
利用者負担金					
その他					26,100
一般財源				13,900	80
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	1,498
正規	0	0	0	1,520	0.2
会計年度任用(フルタイム・パートタイム・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	0	0	0	15,420	27,678
前年度比	—	—	—	—	179.5%

事務事業評価票

事務事業名	単独橋りょう整備事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独橋りょう整備事業

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H31 ~
--------	-------

国庫補助事業である橋りょうの架け替え・補修工事に合わせ実施するもので、主体工事を補完する補助対象とならない工事

また、単独道路新設改良工事に合わせ狭隘な橋を拡幅するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 国庫補助事業である老朽化した橋りょうの架け替え・補修工事を補完する単独事業

(1) 市道7553号線 月見橋(笹部~島立)

事業年度 H26~R7  
 事業量 L=160m W=12.0m  
 単独費 総事業費 C=2,143,269千円の内、詳細設計費  
 R元年度 用地測量、補償算定  
 R2年度 用地補償

(2) 橋梁長寿命化事業

事業年度 H20~  
 事業量 480橋  
 単独費 総事業費 C=2,678,420千円の内事業調整分  
 R元事業費 2,277千円(事業調整分)  
 R2事業費 3,000千円(事業調整分)

(3) 橋梁架替事業

事業年度 R4~  
 事業量 3橋  
 単独費 総事業費 C=192,900千円の内予備設計費

2 地元要望のある生活道路の橋梁整備

(1) 市道8114号線 巾下橋 島内

事業年度 R4~R8  
 事業量 L=11m W=4.0m  
 総事業費 C=135,930千円

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止

(1) 財源確保に努め、早期整備に向け取組みを進める。  
 (2) 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、長期的なコスト、事業費の平準化など、より効率的な事業を実施する。また、利用頻度が低く危険な橋は、廃橋についても検討し、事業を進めていく。

生活道路の橋梁整備では、地元調整及び関係機関との協議が重要である。

<指標の達成状況>

		総合評価		B	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
指標の設定理由	将来に向けた橋りょう整備の軸となる橋梁修繕完了橋梁数を指標とする				
目標値	14	23	35	37	41
実績値	14	21	26	29	39
達成度	100.0%	91.3%	74.3%	78.4%	95.1%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	0	0	0	13,900	2,131
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源				13,900	2,131
② 人件費(千円)	0	人工 0	人工 6,795	人工 76	人工 749
正規	0	0	6,795	0.9	76
会計年度任用(フルタイム・パートタイム・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	0	0	6,795	13,976	2,880
前年度比	—	—	—	205.7%	20.6%

事務事業評価票

事務事業名	単独河川改良事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独河川改良事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H17 ～
市管理河川の整備を進め、効果的な治水・排水により市民の安全・安心を確保するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
都市化による雨水流出量の増加に対する、通水断面確保及び老朽化した河川護岸の2次改良整備
1 令和2年度主要工事実績 (1)西大門沢川・・・(工事 L=14.2m C=14,520千円) 事業期間 H28～R3 事業延長 L=41m 総事業費 38,780千円
2 令和2年度業務委託実績 (1) 河川現況調査(河川水路台帳修正)・・・(41路線 C=3,300千円) 事業路線 n=355路線 (2) 仮設排水ポンプ設置・・・・・・・・・・・・(6箇所 C=4,270千円)

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充 <b>継続</b> 縮小・廃止 近年、台風、集中豪雨による、溢水、浸水被害が多く発生していることから、浸水被害防止のため、雨水渠や市管理河川・水路の整備を進めます。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	河川状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	53,171	40,552	18,352	50,704	26,493					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	53,171	40,552	18,352	50,704	26,493					
② 人件費(千円)	6,921	人工	6,831	人工	6,040	人工	6,840	人工	5,992	人工
正規	6,921	0.9	6,831	0.9	6,040	0.8	6,840	0.9	5,992	0.8
合計コスト①+②	60,092	47,383	24,392	57,544	32,485					
前年度比	—	78.9%	51.5%	235.9%	56.5%					

事務事業評価票

事務事業名	単独水路改修事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独水路改修事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H6 ~
市管理水路の整備を進め、効果的な治水・排水により市民の安全・安心を確保するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
都市化による雨水流出量の増加に対する、通水断面確保及び老朽化した既存水路の2次改良整備
1 令和2年度主要工事実績
(1) 横田運動公園水路・・・(工事 L=35.8m C=4,320千円 用地・補償 1式 C=800千円)
事業期間 H28～R6
事業延長 L=655m
総事業費 99,820千円
(3) 三才水路・・・・・・・(工事 L=88.3m C=2,260千円)
事業期間 R2～R6
事業延長 L=400m
総事業費 34,280千円
(3) 村井東水路・・・・・・・(工事 L=74m C=2,490千円)
事業期間 R2～R3
事業延長 L=80m
総事業費 4,500千円
(4) 入山辺原水路・・・・・・・(工事 L=13m C=1,260千円)
事業期間 R2
事業延長 L=13m
総事業費 1,300千円

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充 <b>継続</b> 縮小・廃止
近年、台風、集中豪雨による、溢水、浸水被害が多く発生していることから、浸水被害防止のため、雨水渠や市管理河川・水路の整備を進めます。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	水路状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	47,325	33,900	34,995	35,114	20,868
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	47,325	33,900	34,995	35,114	20,868
② 人件費(千円)	7,690	人工 7,590	人工 8,305	人工 8,360	人工 10,486
正規	7,690	1 7,590	1 8,305	1.1 8,360	1.1 10,486
合計コスト①+②	55,015	41,490	43,300	43,474	31,354
前年度比	—	75.4%	104.4%	100.4%	72.1%

事務事業評価票

事務事業名	単独雨水渠新設改良事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独雨水渠新設改良事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H14 ~
--------	-------

都市化による雨水流出量の増加に対し、放流の分散化を図り、都市浸水被害を防止するため、雨水渠の整備を進め市民生活の安全・安心を確保するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

雨水渠及び雨水貯留施設の整備

1 令和2年度工事実績

(1) 穴田川第一雨水幹線・・・(補償 1式)  
(県事業の南松本駅南側踏切立体交差事業延期により未実施)

事業期間 H23~R4  
事業延長 L=417m  
総事業費 185,741千円  
※都市計画道路 出川双葉線関連

2 令和2年度業務委託実績

(1) 松本市公共下水道事業計画変更・・・(計画作成一式 C=6,710千円)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続** 縮小・廃止

近年、台風、集中豪雨による、溢水、浸水被害が多く発生していることから、浸水被害防止のため、雨水渠や市管理河川・水路の整備を進めます。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	雨水渠整備率(整備面積/計画面積)					
	指標の設定理由	都市浸水被害を防止するための施設整備状況を表すのに適当であるため				
	目標値	19.3%	19.7%	19.7%	19.7%	22.5%
	実績値	19.3%	19.3%	19.3%	19.7%	19.7%
	達成度	100.0%	98.0%	98.0%	100.0%	87.6%
② 成果指標(指標名)						
	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
① 事業費(千円)	7,089		11,733		6,710			
	国・県							
	利用者負担金							
	その他							
	一般財源	7,089	11,733		6,710			
② 人件費(千円)	769	人工	人工	1,510	人工	人工	2,247	人工
	正規	769	0.1	1,510	0.2	2,247	0.3	
合計コスト①+②	7,858		13,243		8,957			
前年度比	—		—		—			

事務事業評価票

事務事業名	雨水渠改良事業
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	雨水渠改良事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H25 ~
--------	-------

都市化による雨水流出量の増加に対し、放流の分散化を図り、都市浸水被害を防止するため、雨水渠の整備を進め市民生活の安全・安心を確保するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

雨水渠及び雨水貯留施設の整備

1 令和2年度工事实績

(1) 県第一雨水幹線・・・(工事 L=191.3m C=99,420千円、補償 1式 C=19,680千円)

事業期間 H25~R4 事業延長 L=1,500m  
 総事業費 1,041,495千円  
 ※長沢川・地藏川による中心市街地における溢水対策

(2) 田川第一雨水幹線・・・(用地 1式 C=3,350千円)

事業期間 H25~R9 事業延長 L=1,060m  
 総事業費 538,557千円  
 ※国道19号松本拡幅関連

(3) 和泉川排水区ポンプゲート・・・(ポンプ機械・電気設備・土木工事 1式 C=124,780千円)

事業期間 H27~R9 事業延長 L=830m  
 総事業費 490,335千円  
 ※並柳地区における溢水対策

(4) 丸の内排水区雨水管・・・(工事 L=101.5m C=67,450千円、補償 1式 C=68,030千円)

事業期間 H28~R6 事業延長 L=850m  
 総事業費 523,563千円  
 ※合流区域内における溢水対策

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続** 縮小・廃止

近年、台風、集中豪雨による、溢水、浸水被害が多く発生していることから、浸水被害防止のため、雨水渠や市管理河川・水路の整備を進めます。財源確保に努め、早期整備に向け取組みを進めます。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	雨水渠整備率(整備面積/計画面積)					
	指標の設定理由	都市浸水被害を防止するための施設整備状況を表すのに適当であるため				
	目標値	19.3%	19.7%	19.7%	19.7%	22.5%
	実績値	19.3%	19.3%	19.3%	19.7%	19.7%
	達成度	100.0%	98.0%	98.0%	100.0%	87.6%
② 成果指標(指標名)						
	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
① 事業費(千円)	423,135	162,258	304,542	280,044	181,695		
	国・県	211,549	81,106	152,248	139,750	90,802	
	利用者負担金						
	その他	195,100	81,100	152,100	139,500	90,500	
	一般財源	16,486	52	194	794	393	
② 人件費(千円)	24,608	人工 24,288	人工 23,405	人工 22,800	人工 28,462	人工 28,462	
	正規	24,608	3.2 24,288	3.2 23,405	3.1 22,800	3 28,462	3.8 28,462
合計コスト①+②	447,743	186,546	327,947	302,844	210,157		
前年度比	—	41.7%	175.8%	92.3%	69.4%		



事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	0815000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	街路事業(防災安全)
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	街路事業費(防災安全)

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	○ 慢性的な渋滞の緩和に向けた幹線道路等の建設の推進
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度	H22 ~ R13
--------	-----------

交通の円滑化と通過交通の分散、歩道の整備等による安全、安心な道路環境を確保するため、道路整備5箇年計画に基づき、幹線道路整備を推進する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

都市計画道路の整備

1 継続事業

(1) 南松本駅石芝線<西工区>・・・(工事・用地補償 C=56,569千円)  
 事業年度 H25~R02  
 事業量 L=180m W=12m  
 総事業費 542,080千円

(2) 出川浅間線<里山辺>・・・(用地補償、物件調査 C=204,960千円)  
 事業年度 H30~R13  
 事業量 L=1,030m W=12m  
 総事業費 3,600,000千円

2 新規事業

(1) 宮渕新橋上金井線<城西>・・・(地元調整・測量及び予備設計)

(2) 小池平田線<逢初>・・・(地元調整)

※ 街路事業費については、平成30年度より、街路事業(防災安全)と街路事業(都市再生)に分かれたものであり、平成29年度までのデータは、「街路事業(防災安全)」のもの。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止

都市計画道路は当初の計画決定から60年を経過し、社会情勢や土地利用の変化による見直しが必要になっている。整備率は約45%であり、長期未着手路線の廃止、効果的な道路網の構築を検討する。

・幹線道路の整備率は目標値を下回る。整備には事業用地の取得において地権者の協力が不可欠であるため、補償 生活再建のための措置を講じながら、計画的に事業進捗を図る。

<指標の達成状況>

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合(第10次基本計画)				
指標の設定理由	幹線道路の中でも骨格となる都市計画道路の整備により、交通の円滑化と通過交通の分散を図る。				
目標値	75.5	76.0	76.5	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.6	75.9	76.1
達成度	99.3%	99.1%	98.8%	98.4%	98.1%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	255,679		309,983		281,404		298,626		261,529	
国・県	140,599		170,483		154,717		163,744		143,438	
利用者負担金										
その他	93,100		123,500				91,300		106,100	
一般財源	21,980		16,000		126,687		43,582		11,991	
② 人件費(千円)	48,832	人工	25,958	人工	17,743	人工	19,000	人工	16,478	人工
正規	48,832	6.35	25,958	3.42	17,743	2.35	19,000	2.5	16,478	2.2
合計コスト①+②	304,511		335,941		299,147		317,626		278,007	
前年度比	—		110.3%		89.0%		106.2%		87.5%	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	街路事業費(都市再生)
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	街路事業費(都市再生)

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	主な取組み	○ 右折レーンの増設、中心市街地の交通の再設計
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出	

<事業の狙い>

事業計画年度

H24 ~ R9

・交通の円滑化と通過交通の分散化を図り、安全、安心な道路環境を確保するため、道路整備5箇年計画に基づき、幹線道路整備を推進する。  
 ・松本城を中心としたまちづくり都市再生整備計画事業  
 まちづくりと次世代交通政策を連携し、歩いて暮らせる集約型都市構造を実現する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

幹線道路(松本駅周辺地区)の整備

1 継続事業

(1) 中条白板線<巾上>.....(工事、補償等 C= 167,226千円)

事業年度 H24~R4

事業量 L=265m W=18m

総事業費 1,432,000千円

(2) 中条白板線<白板>.....(用地補償等 C= 108,381千円)

事業年度 H28~R5

事業量 L=120m W=18m

総事業費 1,333,000千円

(3) 市道1223号線<城西>.....(用地補償等 C= 83,038千円)

事業年度 H30~R4

事業量 L=180m W=15m

総事業費 440,000千円

2 新規事業

(1) 中条白板線<中条西> .....(地元調整)

※ 街路事業費については、平成30年度より、街路事業(防災安全)と街路事業(都市再生)に分かれたものであり、平成29年度までのデータは、「街路事業(防災安全)」のもの。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止

都市計画道路は当初の計画決定から60年を経過し、社会情勢や土地利用の変化による見直しが必要になっている。整備率は約45%であり、長期未着手路線の廃止、効果的な道路網の構築を検討する。

・幹線道路の整備率は目標値を下回る。整備には事業用地の取得において地権者の協力が不可欠であるため、補償 生活再建のための措置を講じながら、計画的に事業進捗を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合(第10次基本計画)				
指標の設定理由	幹線道路の中でも骨格となる都市計画道路の整備により、交通の円滑化と通過交通の分散を図る。				
目標値	75.5	76.0	76.6	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.6	75.9	76.1
達成度	99.3%	99.1%	98.7%	98.4%	98.1%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	255,679	309,983	336,855	330,669	358,646					
国・県	140,599	170,483	284,838	209,445	200,313					
利用者負担金										
その他	93,100	123,500		92,400	142,300					
一般財源	21,980	16,000	52,017	28,824	16,033					
② 人件費(千円)	48,832	人工	25,958	人工	16,988	人工	19,000	人工	23,219	人工
正規	48,832	6.35	25,958	3.42	16,988	2.25	19,000	2.5	23,219	3.1
合計コスト①+②	304,511	335,941	353,843	349,669	381,865					
前年度比	—	110.3%	105.3%	98.8%	109.2%					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	単独街路事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独街路事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	○ 右折レーンの増設、中心市街地の交通の再設計
5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<事業の狙い>

事業計画年度	H22 ~ R13
--------	-----------

交通の円滑化と通過交通の分散を図り、安全、安心な道路環境を確保するため、道路整備5箇年計画に基づき、幹線道路整備を推進する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

街路事業(都市再生)、同(防災安全)及び県事業を補完するもの

1 継続事業

- (1) 中条白板線<巾上> ..... (設計委託、補償等 C=5,553千円)
- (2) 南松本駅石芝線<西工区> .. (付帯工事、用地測量 C=3,014千円)
- (3) 中条白板線<白板> ..... (用地購入、物件調査等 C=14,698千円)
- (4) 出川浅間線<里山辺> ..... (補償、物件調査等 C=22,947千円)
- (5) 市道1223号線<城西> ..... (事業地管理等 C= 177千円)
- (6) 松本駅北小松線<県> ..... (測量・設計・調査委託 C=10,193千円)
- (7) 宮渕新橋上金井線<城西> .. (測量・設計委託 C=12,100千円)

2 新規事業

- (1) 小池平田線<庄内~深志> ..... (地元調整)
- (2) 中条白板線<中条西> ..... (地元調整)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続**・縮小・廃止

都市計画道路は当初の計画決定から60年を経過し、社会情勢や土地利用の変化による見直しが必要になっている。整備率は約45%であり、長期未着手路線の廃止、効果的な道路網の構築を検討する。

・幹線道路の整備率は目標値を下回る。整備には事業用地の取得において地権者の協力が不可欠であるため、補償 生活再建のための措置を講じながら、計画的に事業進捗を図る。

<指標の達成状況>

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合(第10次基本計画)				
指標の設定理由	幹線道路の中でも骨格となる都市計画道路の整備により、交通の円滑化と通過交通の分散を図る。				
目標値	75.5	76	76.6	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.6	75.9	76.1
達成度	99.3%	99.1%	98.7%	98.4%	98.1%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	10,616		26,020		58,680		31,303		70,202	
国・県										
利用者負担金										
その他									448	
一般財源	10,616		26,020		58,680		31,303		69,754	
② 人件費(千円)	1,154	人工	9,488	人工	7,550	人工	7,600	人工	5,243	人工
正規	1,154	0.15	9,488	1.25	7,550	1	7,600	1	5,243	0.7
合計コスト①+②	11,770		35,508		66,230		38,903		75,445	
前年度比	—		301.7%		186.5%		58.7%		193.9%	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	松本城周辺整備事業(都市再生)
-------	-----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城周辺整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2	交通・まちづくり
主な取組み	○	市内の東西南北をつなぐ動脈である主要道路の更新整備	
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出	

<事業の狙い>

事業計画年度

H23~R7

観光客や市民が安心して歩ける道路空間づくりを推進し、防災拠点となる松本城公園や市役所へのアクセス性向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内環状北線整備事業

- (1) 用地取得及び条件整備  
事業用地の取得(令和2年度までの事業用地取得率 79%)
- (2) 用地権利者調査業務
- (3) 補償再算定業務
- (4) 工事
- (5) 詳細設計業務

2 市道1056号線整備事業

- (1) 地元との合意形成
- (2) 補償算定業務
- (3) 工事

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続** 縮小・廃止  
 防災拠点となる市役所、広域避難地である松本城公園への重要なアクセス道路となっていることから、歩行避難空間の確保、災害車両通行空間の確保が求められている。  
 松本城周辺の環境整備として交通の分散化、子供からお年寄りまでが安全で安心して通行できる歩車道分離による道路整備が求められている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	35%	38%	41%	55%	71%
実績値	35%	38%	41%	55%	71%
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	299,132		100,332		95,758		184,275		354,698	
国・県	164,520		55,181		92,000		92,720		185,980	
利用者負担金										
その他	127,800		42,800		3,500		8,300		142,000	
一般財源	6,812		2,351		258		83,255		26,718	
② 人件費(千円)	16,235	人工	16,047	人工	15,985	人工	16,094	人工	15,889	人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	15,200	2	14,980	2
会計年度任用 (フルタイム・パートタイム1・2類)	855	0.3	867	0.3	885	0.3	894	0.3	909	0.3
合計コスト①+②	315,367		116,379		111,743		200,369		370,587	
前年度比	—		36.9%		96.0%		179.3%		185.0%	

事務事業評価票

事務事業名	単独松本城周辺整備事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城周辺整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H23～R7

観光客や市民が安心して歩ける道路空間づくりを推進し、防災拠点となる松本城公園や市役所へのアクセス性向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内環状北線整備事業

- (1) 用地取得及び条件整備  
事業用地の取得(令和2年度までの事業用地取得率 79%)
- (2) 不動産鑑定業務
- (3) 付帯工事
- (4) 景観設計業務
- (5) 内環状北線管理工事業務

2 市道1057号線整備事業

- (1) 用地交渉
- (2) 用地測量
- (3) 補償算定
- (4) 移転補償業務

3 市道1056号線整備事業

- (1) 地元との合意形成

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
 防災拠点となる市役所、広域避難地である松本城公園への重要なアクセス道路となっていることから、歩行避難空間の確保、災害車両通行空間の確保が求められている。  
 松本城周辺の環境整備として交通の分散化、子供からお年寄りまでが安心して通行できる歩車道分離による道路整備が求められている。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 交通・まちづくり
	主な取組み	○ 市内の東西南北をつなぐ動脈である主要道路の更新整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	35%	38%	41%	55%	71%
実績値	35%	38%	41%	55%	71%
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,290		194,348		19,212		351,494		81,024	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,290		194,348		19,212		351,494		81,024	
② 人件費(千円)	15,950	人工	15,758	人工	15,690	人工	15,796	人工	15,586	人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	15,200	2	14,980	2
会計年度任用 (フルタイム・パートタイム・2類)	570	0.2	578	0.2	590	0.2	596	0.2	606	0.2
合計コスト①+②	25,240		210,106		34,902		367,290		96,610	
前年度比	—		832.4%		16.6%		1052.3%		26.3%	

維持課

課長 百瀬 信

事務事業評価票

事務事業名	地籍調査事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地籍調査事業費

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	～ R5
--------	------

国土調査法に基づく事業であり、明治時代の古い公図を改め、最新の測量技術で作成した公図(不動産登記法に基づく地図)を法務局に設置することで、現地と公図の相違をなくし、土地境界を巡るトラブルの防止や土地利用の円滑化等を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

本事業は、四賀地区で実施しており、地区内の各地籍を明確にするため、該当地の実態調査(所有者の経緯調査等)から、現地測量による境界立会を行い、確定した境界に基づく新たな公図を作成し、法務局に登録を行っている。

○令和2年度事業費

地籍測量費等 2,140千円(一般財源)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止

地区内の各地籍を明確にするため必要であり継続する。

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地籍調査済面積(km <sup>2</sup> )				
指標の設定理由	地籍の明確化により、土地トラブルの解消と災害時の復旧事業が円滑に進む				
目標値	8.47	8.67	8.80	8.83	8.85
実績値	8.47	8.66	8.79	8.83	8.85
達成度	100.0%	99.9%	99.9%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	7,000		7,600		6,094		2,180		2,140	
国・県	4,875		4,492		4,125		750		0	
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,125		3,108		1,969		1,430		2,140	
② 人件費(千円)	18,384	人工	13,522	人工	13,601	人工	13,712	人工	9090	人工
正規	15,534	2.02	7,742	1.02	7,701	1.02	7,752	1.02	0	0
会計年度任用(フルタイム・パートタイム1・2類)	2,850	1	5780	2	5,900	2	5,960	2	9090	3
合計コスト①+②	25,384		21,122		19,695		15,892		11,230	
前年度比	—		83.2%		93.2%		80.7%		70.7%	

事務事業評価票

事務事業名	市道等管理
-------	-------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市道管理費

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

関係法令(道路法、河川法等)に基づき、市民生活の基礎的インフラとして重要な施設の適切な管理を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 市道認定事務(R2実績14件)  
道路法及び市道認定要綱に基づき、適正な市道認定を行う
- 市道管理事務  
道路法に基づき、市道付帯設備の管理業務を行う
- 市道占用等許可業務及び料金徴収(R2許可件数4,352件 占用料109,770千円)  
道路法、河川法及び市条例に基づき、市道占用の許可を行う
- 許認可事務(道路法・河川法)  
道路法、河川法及び市条例に基づき許認可事務を行う
- 境界確認事務(R2実績770件)  
官民界との境界確認を行う
- 特殊車両通行許可協議(R2実績717件)  
法に基づき、特殊車両通行許可協議を行う
- 事故対応業務(R2賠償件数14件、自損事故対応件数227件)  
道路の構造物が原因で発生した市道上の事故への賠償及び自損事故で破損した道路施設の事故処理に対応する。
- 河川防災ステーション管理業務  
洪水時等の非常時における水防活動を円滑に行うとともに非常時における防災意識の向上及び地域活動の活性化を図る。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 **拡充・継続**・縮小・廃止  
市民生活の基礎的インフラとして重要なため、適切な管理を引き続き継続する。

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	道路の状況により実施する、また、申請により実施するものであり目標設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	47,679		43,086		48,187		53,920		56,770	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	47,679		43,086		48,187		53,920		56,770	
② 人件費(千円)	88,612	人工	87,845	人工	87,759	人工	88,392	人工	87,578	人工
正規	74,362	9.67	73,395	9.67	73,009	9.67	73,492	9.67	72,428	9.67
会計年度任用(フルタイム・パートタイム1・2類)	14,250	5	14,450	5	14,750	5	14,900	5	15,150	5
合計コスト①+②	136,291		130,931		135,946		142,312		144,348	
前年度比	—		96.1%		103.8%		104.7%		101.4%	



事務事業評価票

事務事業名	道路情報管理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	道路情報管理費

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

道路法の規定に基づき本市が管理する市道について、道路情報を効率的に管理するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市道路台帳補正業務  
 年度ごとに市道の新設、改良、舗装等に伴い認定、変更、廃止された市道について道路台帳を補正して、図面、各種調書の更新を実施し、道路延長及び面積等の数値を掌握する。  
 (R2実績 市道認定14件、変更2件、廃止0件)  
 路線実延長 2,324,414m → 2,326,215m  
 道路敷面積 12,003,946㎡ → 12,030,305㎡

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止  
 道路情報を効率的に管理するため引き続き継続する。

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	道路の状況により実施するものであり、目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	23,673		26,589		27,831		26,960		23,090	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	23,673		26,589		27,831		26,960		23,090	
② 人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,285	人工	5,320	人工	5,243	人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,285	0.7	5,320	0.7	5,243	0.7
会計年度任用(フルタイム・パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	29,056		31,902		33,116		32,280		28,333	
前年度比	—		109.8%		103.8%		97.5%		87.8%	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	私道舗装補助金
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

生活環境の向上を図るため、地域から整備要望のある私道等について、舗装工事費に相当する金額を補助金として交付するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 事業内容  
利用のある私道・認定外道路等で、要綱に適合するものについて舗装工事費に相当する一定の金額を補助金として交付
- 補助対象  
(1) 幅員1.8m以上の通り抜け道路 (工事費の100分の100)  
(2) 幅員1.8m以上、かつ、延長35m以上の袋路(工事費の100分の50)  
(3) 舗装工事に伴い必要となる簡易な排水構造物の設置
- 実績  
553件 延長42,510m 事業費388,347千円  
・令和元年度 3件  
里山辺西小松、島内青島、岡の宮西  
延長L=94m 面積A=319㎡ 事業費3,000千円  
・令和2年度 3件  
安原旭 延長L= 25m 面積A= 93㎡ 事業費 805千円  
中条第二 延長L= 63m 面積A=163㎡ 事業費1,320千円  
芳川村井町 延長L= 35m 面積A=155㎡ 事業費 855千円  
合計 延長L=123m 面積A=411㎡ 事業費2,980千円

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
本補助金は、市道に認定することが困難な私道の整備を促進し、市民の生活環境向上を図る目的としたもので、町会からの申請により行っています。地元からの要望も高く、申請件数も多いことから、予算の範囲内において継続していくこととします。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地権者の合意により実施するもので、目標値の設定不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,829		2,991		5,186		3,000		2,980	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,829		2,991		5,186		3,000		2,980	
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工	2,307	人工	2,247	人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,307	0.3	2,247	0.3
会計年度任用(フルタイム・パートタイム・2類)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	5,136		5,268		7,451		5,307		5,227	
前年度比	—		102.6%		141.4%		71.2%		98.5%	

事務事業評価票

事務事業名	駅前広場管理
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	駅前広場管理費

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約		
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み		
基本施策(個別目標)	334	公共交通ネットワークの充実	5つの重点目標			
—	—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
駅前広場・自由通路を利用する市民及び旅客の安全かつ円滑な通行を確保したうえで、施設を効率的に運営しつつサービスの向上を図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 対象施設 松本駅、北松本駅、平田駅の駅前広場及び自由通路
2 事業内容
(1) 指定管理者制度による施設管理
(2) 使用料金の徴収
・駅前広場使用料
・自家用車整理場使用料(松本駅お城口・アルプス口広場)
・駅前広場タクシー駐車場使用料(松本駅お城口・アルプス口、北松本駅お城口・アルプス口)
(3) 昇降機の維持管理
・松本駅エレベーター、エスカレーター
・北松本駅エレベーター
・平田駅エレベーター
(4) スプリンクラー設備設置
・調査

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 (拡充・継続・縮小・廃止)
駅前広場・自由通路は、駅利用者や観光客及び通行者など多くの人々が利用する施設であります。老朽化が進んでいるため、維持管理費の増加が見込まれます。また、照明施設のLED化が急務となっています。
松本駅については、今後、自由通路へのスプリンクラー設備設置や駅前広場の自動車整理場を更新するなど、施設の幅広い利活用に向けた取組みを進めていきます。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	施設の管理事業であるため、指標の設定は不適当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	59,381	66,650	61,580	60,359	59,134
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	59,381	66,650	61,580	60,359	59,134
② 人件費(千円)	1,538	1,518	1,510	1,538	1,498
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,498
会計年度任用(フルタイム・パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	60,919	68,168	63,090	61,897	60,632
前年度比	—	111.9%	92.6%	98.1%	98.0%

事務事業評価票

事務事業名	単独道路橋りょう維持補修事業
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独道路橋りょう維持補修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

28～

平時には市道を常時良好な状態に保ち、災害時や降雪・豪雨等の異常気象時には幹線道路の安定的な交通を可能な限り確保するため、主に応急処置的に機能管理する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 道路施設等管理業務  
市道の安全な通行を常時確保するため、道路施設を機能管理する。
- 道路除融雪業務  
冬期間の安全な通行を確保するため、幹線道路を主に機能管理する。
- 老朽化や破損等の道路施設維持補修  
市道の安全な通行を常時確保するため、応急処置的に補修する。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
幹線道路の安定的な交通を可能な限り確保するため継続する。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	道路の状況により実施するため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,048,992		955,988		834,205		892,040		516,510	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,048,992		955,988		834,205		892,040		516,510	
② 人件費(千円)	184,447	人工	182,087	人工	184,447	人工	182,370	人工	179,777	人工
正規	183,022	23.8	180,642	23.8	183,022	23.8	180,880	23.8	178,262	23.8
会計年度任用(フルタイム・パートタイム1・2類)	1,425	0.5	1,445	0.5	1,425	0.5	1,490	0.5	1,515	0.5
合計コスト①+②	1,233,439		1,138,075		1,018,652		1,074,410		696,287	
前年度比	—		92.3%		89.5%		105.5%		64.8%	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	今井道の駅維持管理業務
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	今井道の駅管理委託

<事業の狙い>

事業計画年度

～

道の駅を利用する市民及び観光客等の利便性や安全性を確保し、施設を効率的に運営しつつサービスの向上を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 事業概要  
県が設置した今井道の駅について、県との管理協定に基づき、市が実施する部分の施設管理を行う。
- 対象施設  
駐車場、歩道、公衆便所、休憩施設
- 事業内容  
委託による清掃・消耗品の補充等日常的な維持管理

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続**・縮小・廃止  
今井道の駅は県が設置し、県との管理協定に基づき、市が駐車場・歩道・公衆便所・休憩施設等について日常的な維持管理を行っています。  
現在は、施設の老朽化が課題となっています。  
市民や観光客等多くの利用者がある施設ですので、今後も施設の効率的な運営をし、サービスの向上を図っていく方針です。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	施設の管理事業であるため、指標の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,853		2,853		2,853		2,879		2,906	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,853		2,853		2,853		2,879		2,906	
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	769	人工	749	人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	769	0.1	749	0.1
会計年度任用 (フルタイム・パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	3,622		3,612		3,608		3,648		3,655	
前年度比	—		99.7%		99.9%		101.1%		100.2%	

事務事業評価票

事務事業名	道路橋りょう維持補修事業費 (防災安全)
-------	-------------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	道路橋りょう維持補修事業費(防災安全)

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	26～
道路法改正による道路構造物の5年に1回の定期点検義務化により、法定点検を実施し、道路構造物の健全性を把握して構造物の長寿命化を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 道路構造物定期点検 5年に1回の定期点検の義務化により、維持課担当分の重要道路構造物(橋長5m未満の橋梁、トンネル、大型ボックスカルバート、横断歩道橋)について点検を実施し、健全性を診断する。  平成30年度 L2～5mの橋梁点検 62カ所(一巡目 508橋全て完了) 令和元年度 L2～5mの橋梁点検 96カ所(二巡目)
2 舗装長寿命化事業 経年劣化が進む道路舗装について、5年に1回の定期点検(路面性状調査)を実施する。更に、土質調査及び交通量調査で舗装状態を正確に把握して修繕工事を実施し、効率的な維持管理を行う。 H26調査対象市道延長(幹線市道)L=335kmのうち、管理水準以下延長がL=112kmに上るため、修繕速度を4.5km/年以上とする。  平成29年度 L=0.6km 平成30年度 L=2.7km 令和元年度 L=1.9km

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充・継続 縮小・廃止 道路構造物の健全性を把握して構造物の長寿命化を図るために継続する。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	構造物点検実施箇所数				
指標の設定理由	定期点検の義務対象施設総数(994箇所)に対する進捗率				
目標値	634	849	994	199	444
実績値	640	907	994	212	417
達成度	100.9%	106.8%	100.0%	106.5%	93.9%
② 成果指標(指標名)	道路舗装修繕率(%)				
指標の設定理由	H26調査による管理水準以下総延長(L=112km)に対する進捗率				
目標値	0	4.4	8.4	11.4	16.4
実績値	0	0.5	2.9	4.8	6.7
達成度		11.4%	34.5%	42.1%	40.9%

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	76,010	138,439	189,530	200,770	164,000					
国・県	41,800	76,139	49,529	31,387	24,500					
利用者負担金										
その他			48,000	101,000	112,900					
一般財源	34,210	62,300	92,001	68,383	26,600					
② 人件費(千円)	10,911	人工 10,877	人工 22,250	人工 22,412	人工 22,218					
正規	6,921	0.9	6,831	0.9	18,120	2.4	18,240	2.4	17,976	2.4
※ 委嘱年度在用(フルタイム・パートタイム1・2類)	3,990	1.4	4,046	1.4	4,130	1.4	4,172	1.4	4,242	1.4
合計コスト①+②	86,921	149,316	211,780	223,182	186,218					
前年度比	—	171.8%	141.8%	105.4%	83.4%					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	リフレッシュロード事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	リフレッシュロード事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

28～R2

流通及び生活に密着した幹線道路をより心地よく、より使いやすくするため、車道の舗装補修だけでなく、歩道・植栽・道路付属施設などを総合的に補修する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

幹線道路の総合的な補修 車道:舗装補修、側溝補修、区画線設置、交通安全施設補修 歩道:舗装補修、縁石補修 植樹帯:街路樹剪定、街路樹補植
---

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
道路の修繕は車道優先に行われており、歩行者や自転車等への配慮が欠けているため、道路を公共空間として捉え、利用するすべての人に優しい施設にすることが必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	道路整備率(%) <small>(年一億ベースの事業費目標に対する整備進捗率)</small>				
指標の設定理由	<small>(年一億ベースの事業費目標に対する整備進捗率)</small>				
目標値	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
実績値	20	33.7	47	67	68
達成度	100.0%	84.3%	78.3%	83.8%	68.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	99,988		68,472		69,267		100,000		100,000	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	99,988		68,472		69,267		100,000		100,000	
② 人件費(千円)	23,070	人工	22,770	人工	11,325	人工	11,400	人工	11,235	人工
正規	23,070	3	22,770	3	11,325	1.5	11,400	1.5	11,235	1.5
会計年度任用 (フルタイム・パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	123,058		91,242		80,592		111,400		111,235	
前年度比	—		74.1%		88.3%		138.2%		99.9%	

事務事業評価票

事務事業名	負担金(兼用側溝・急傾斜地)
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度	26～
--------	-----

市道の排水を兼ねた県道の道路排水施設について県主体で実施する整備事業、及び、急傾斜地崩壊危険箇所を県主体で実施する対策事業に対し工事費の一部を地元負担する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 県単独兼用側溝整備事業負担金  
市道の排水を県管理の水路に接続し処理しているため、県主体で実施する兼用側溝整備工事の費用の一部を地元負担金として支出するもの。(工事費の50%、及び、事務費として工事費の11%)  
H27～ (一)土合松本線  
H30～ (主)松本和田線

2 急傾斜地崩壊対策事業負担金  
本市要望により、県主体で実施する急傾斜地崩壊指定箇所の対策工事の費用の一部を地元負担金として支出するもの。(事業費の5%)  
H26～ 八景山地区

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
急傾斜地崩壊危険箇所の工事費一部を地元負担は今後も必要なため継続する。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	県主体の事業によるため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,376		7,502		6,361		9,970		10,500	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,376		7,502		6,361		9,970		10,500	
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工	749	人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1	749	0.1
会計年度任用(フルタイム・パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	6,145		8,261		7,116		10,730		11,249	
前年度比	—		134.4%		86.1%		150.8%		104.8%	



事務事業評価票

事務事業名	単独河川維持補修事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独河川維持補修事業費

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度	28～
河川を常時良好な状態に保つため、機能管理する。	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

河川の機能を常時確保するため、応急処置的に実施する。

- 1 老朽化や破損等による河川施設の補修
- 2 浚渫による流下断面の確保
- 3 支障木撤去による流下断面の確保

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止

河川を常時良好な状態に保つため継続する。

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	河川の状況により実施するため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	7,176		7,274		6,980		7,210		7,430	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,176		7,274		6,980		7,210		7,430	
② 人件費(千円)	1,054	人工	1,048	人工	1,050	人工	1,058	人工	1,052	人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1	749	0.1
会計年度任用 (フルタイム・パートタイム1・2類)	285	0.1	289	0.1	295	0.1	298	0.1	303	0.1
合計コスト①+②	8,230		8,322		8,030		8,268		8,482	
前年度比	—		101.1%		96.5%		103.0%		102.6%	

事務事業評価票

事務事業名	道路橋りょう維持補修事業 (社会資本)
-------	------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	道路橋りょう維持補修事業費(社会資本)

<事業の狙い>

事業計画年度	30~
--------	-----

除雪作業車両を計画的に更新していくことで、修理費、維持管理費の軽減、作業効率の向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 除雪機械整備事業  
山間地で積雪地区に指定されている、安曇・奈川・梓川地区の市道除雪は、地元土木業者と町会に市所有の除雪機械を貸与して行っている。現在使用中の機械は老朽化が進み、維持管理費の増加や作業効率や安全性の低下が著しく、除雪作業に支障が生じているため、計画的に除雪機械の更新を進める。

対象車両26台のうち、R元までに2台更新

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
修理費、維持管理費の軽減、作業効率の向上を図るため、除雪作業車両の計画的な更新を継続する。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	除雪機械の更新サイクルの定着化を図るもので、目標値の設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	0	0	0	9,825	59,970
国・県				6,550	15,780
利用者負担金					
その他					36,270
一般財源				3,275	7,920
② 人件費(千円)	0	0	0	760	760
正規	0	0	0	760	749
会計年度任用 (フルタイム・パートタイム・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	0	0	0	10,585	60,730
前年度比	—	—	—	—	573.7%

# 公園緑地課

課長 百瀬 久芳

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	公園維持管理事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公園維持管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～

市民の健全な心身を育む場として公共の福祉の増進を図るとともに、災害時における避難所として防災対策の推進をするため、適正な公園施設の維持管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 業務委託
(1) 公園緑地の維持管理業務 シルバー人材センター他業務委託 (33公園)
(2) ゴミ収集・処分業務 (157公園 155t)
(3) 害虫防除駆除 (92公園 271本処理)
(4) 除草業務 ア 草刈 (7カ所 延べ61, 200㎡) イ 芝除草 (12カ所 102, 500㎡) ウ 植樹帯除草 (14カ所 26, 450㎡)
(5) 松本市アルプスドリームコースター、電気工作物、浄化槽、時計、消防設備等の保守点検
2 施設の点検・維持補修 日常・定期点検において、補修等が必要となった施設の営繕及び更新

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 継続  
 ・公園施設の老朽化が進んでいるため、計画的な更新、補修などの対策が必要となっている。  
 ・倒木や支障枝、ムクドリ対策など、公園の状況に応じた、剪定や伐採などの樹木管理が必要となっている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	公園遊具施設事故件数				
指標の設定理由	遊具施設の事故件数から適正な施設管理状況を把握できるため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	6	4	4	0	1
達成度	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	190,228		192,015		195,257		197,879		190,940	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	190,228		192,015		195,257		197,879		190,940	
② 人件費(千円)	25,667	人工	25,549	人工	25,625	人工	25,824	人工	25,711	人工
正規	17,687	2.3	17,457	2.3	17,365	2.3	17,480	2.3	17,227	2.3
会計年度任用 (フルタイム・パートタイム1・2類)	7,980	2.8	8,092	2.8	8,260	2.8	8,344	2.8	8,484	2.8
合計コスト①+②	215,895		217,564		220,882		223,703		216,651	
前年度比	—		100.8%		101.5%		101.3%		96.8%	

事務事業評価票

事務事業名	小鳥と小動物の森管理事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	小鳥と小動物の森管理費

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	413	環境教育の充実	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28～
身近な動物たちとの触れ合いを楽しみ、市民の健全な心身を育む場を提供するため、適正な施設維持管理を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 施設管理業務委託 施設の維持管理と動物の健康管理
2 施設の維持補修 施設周辺の樹木伐採・伐根工事 1式
3 大規模改修事業 今後の予定 令和2年度 大規模改修事業申請書作成業務 (都市計画法施行規則第60条証明に関わる資料) 令和3年度～ 工事着手(～7年度まで) 予定 サル舎(R3,4)、タヌキ舎(R3,4)、イノシシ舎(R5)、 水鳥舎・小獣舎(R6)、猛禽舎、園路整備等(R7)
＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 継続 ・経年による施設の老朽化が著しく、来園者からは、より観察しやすく動物の生育環境に即した施設への改修要望が寄せられている。 ・飼育管理業務を行う面からも、より省力化を図った設備が求められている。 ・大規模改修事業により、老朽化した施設を計画的に改修する。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	動物園入園者数				
指標の設定理由	心身を育む動物たちと触れ合う状況を直接的に測定できるため				
目標値	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000
実績値	121,604	131,345	130,190	108,797	86,041
達成度	67.6%	73.0%	72.3%	60.4%	47.8%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)		40,167	41,008	47,377	55,144	43,330					
	国・県										
	利用者負担金										
	その他										
	一般財源	40,167	41,008	47,377	55,144	43,330					
② 人件費(千円)	2,877	人工	2,855	人工	2,855	人工	2,876	人工	2,853	人工	
	正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3	2,247	0.3
	会計年度任用(フルタイム・パートタイム1・2類)	570	0.2	578	0.2	590	0.2	596	0.2	606	0.2
合計コスト①+②		43,044	43,863	50,232	58,020	46,183					
前年度比		—	101.9%	114.5%	115.5%	79.6%					

事務事業評価票

事務事業名	緑対策
-------	-----

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	緑対策費

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度	H26 ~
--------	-------

街中の緑を守り、緑化活動を推進するため、様々な事業を実施しながら、市民に緑化活動の意義を啓発し、緑化に対する意識を高めていくもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 地区、町会、育成ボランティア団体への緑化木等の配布
- 2 市指定保存樹維持管理事業補助金制度の活用、周知  
保存樹木1本につき補助率50%、補助金額上限25万円(申請件数2件)
- 3 松本市緑化推進委員協議会への支援、協力  
(委員数105名、総会1回、幹事会3回、春・秋花苗配布、秋講習会)
- 4 樹勢相談、緑陰講座の開催  
(樹勢相談28件、緑陰講座10回・185人参加)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 継続

- ・松本市緑を守り育てる条例による保存樹制度について広く周知を行い、新たな保存樹の登録を促し、緑化の推進を図る。
- ・保存樹木等維持管理事業補助金は、今後も目標値に近い数字となるよう、引き続き所有者への周知を行う。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市指定保存樹維持管理事業補助金予算執行率					
	指標の設定理由	年間通しての補助金事業の状況から市内の緑化の数値が把握できるため				
	目標値(千円)	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
	実績値(千円)	548	1,345	263	454	501
	達成度	43.8%	107.6%	21.0%	36.3%	40.1%
② 成果指標(指標名)						
	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,817		8,948		7,983		8,800		8,890	
	国・県									
	利用者負担金									
	その他									
	一般財源		9,817		8,948		7,983		8,800	
② 人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	4,530	人工	4,560	人工	4,560	人工
	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6	4,560	0.6	4,560	0.6
	会計年度任用(フルタイム・パートタイム1・2類)				0		0		0	
合計コスト①+②	14,431		13,502		12,513		13,360		13,450	
	前年度比		—		93.6%		92.7%		106.8%	

**事務事業評価票**

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞

事業計画年度

H26 ～

公園及び緑化の関係団体に加入することにより、国、県、他市の緑化活動の情報を共有し、業務に活かしていくもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 全国都市公園整備促進協議会  
(負担金 42千円 総会、役員会、公園緑地関係資料集の送付)
  - 構成  
会長 釧路市長  
構成団体 全国439市町村
  - 事業内容
    - ・国との意見交換、講演会の開催
    - ・公園緑地等の啓発活動
    - ・公園緑地関係の問題、課題、対策等の情報提供
    - ・加盟団体の相互協力による調査、研究、国への提言等
- 渇水施設組合  
(負担金 12千円 梓川ふるさと公園の水の使用 総会、役員会)
  - 構成  
梓川ふるさと公園内を通る農業用水の施設管理や水利について、水利権を持つ組合員により構成。
  - 事業内容
    - ・総会、役員会の開催
    - ・施設の有効利用に関する研修
    - ・施設の保守、点検、修理等

＜現状に対する認識＞

- 第11次基本計画での方向性 継続
- ・全国都市公園整備促進協議会への加盟、活動を通じ、公園緑地に対する様々な課題に対して、取組事例や情報等をいち早く収集でき、事務事業に反映させることができる。
  - ・渇水施設組合は、公園の維持管理に用水を利活用するため、水利権を有していることから、加盟が必要。
  - ・会への加入の意義やメリットについて、年度ごとに確認を行う。

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	負担金予算執行率				
指標の設定理由	負担金を指標にすることにより、数値が的確に把握できるため				
目標値(千円)	169	54	54	54	54
実績値(千円)	169	54	54	54	54
達成度	100.00%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	169		54		54		54		54	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	169		54		54		54		54	
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工	749	人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1	749	0.1
会計年度任用 (フルタイム・パートタイム1・2類)			0		0		0		0	
合計コスト①+②	938		813		809		814		803	
前年度比	—		86.7%		99.5%		100.6%		98.6%	

事務事業評価票

事務事業名	単独アルプス公園整備事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独アルプス公園整備事業費

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H28~R5
--------	--------

心と体の健康づくりの推進に寄与する場を提供するため、総合公園であるアルプス公園の施設整備及び松くい虫による被害木の整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 施設の改築・更新
  - ・森の入口休憩場改修 1式
  - ・園路広場舗装 1式
  - ・支障木撤去 1式
- 松くい虫被害木の除去、植栽箇所下刈(森林整備)
  - (松本市ドリームコースター施設内他伐倒処理 159本)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 継続

- ・子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園が求められている。
- ・公園施設及び遊具の老朽化が進んでおり、早急な対策が必要となっている。
- ・松くい虫被害木の除去を計画的に実施する予定であるため、今後、除去を実施した箇所の再整備について検討する。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	アルプス公園の施設整備費率					
	指標の設定理由	公園施設の整備状況が直接的に把握できるため				
	目標値	3.83%	35.69%	54.46%	69.46%	93.62%
	実績値	3.86%	35.60%	44.08%	47.96%	57.85%
	達成度	100.8%	99.7%	80.9%	69.0%	61.8%
② 成果指標(指標名)						
	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度			
① 事業費(千円)	3,459		28,693		16,242		14,555		9,127			
	国・県											
	利用者負担金											
	その他		15,600									
	一般財源		3,459		13,093		14,555		9,127			
② 人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	4,530	人工	4,560	人工	4,494	人工		
	正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6	4,560	0.6	4,494	0.6	
	会計年度任用(フルタイム・パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト①+②	8,073		33,247		20,772		19,115		13,621			
	前年度比		—		411.8%		62.5%		92.0%		71.3%	



事務事業評価票

事務事業名	公園施設長寿命化事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公園施設長寿命化事業費

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H26~R6

既存都市公園施設の老朽化が進んでいる状況で、維持管理におけるライフサイクルコストの軽減が求められているため、老朽化した施設の改築・更新を計画的に行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

改築・更新工事の実施

- 策定した長寿命化計画に基づき、施設改築・更新工事を9公園実施
- ・2ha未満の都市公園で、緊急性の高いベンチの更新
- ・遊戯施設の身体挟み込み解消(部材の追加)、施設の撤去

(国の3次補正を受け、全額を未契約繰越したもの。事業費:30,000千円)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性

継続

- ・公園施設及び遊具の老朽化が進んでおり、計画的な更新や補修などの対策が必要となっている。
- ・都市公園における公園長寿命化計画に基づき、計画的に施設更新を進める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	公園施設の改築・更新の必要な公園数				
指標の設定理由	公園施設の維持管理の状況が直接的に把握できるため				
目標値	70	55	40	26	64
実績値	70	55	40	26	64
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	60,009		40,003		50,363		19,995		85,100	
国・県	30,000		20,000		25,170				27,000	
利用者負担金										
その他							17,900		29,000	
一般財源	30,009		20,003		25,193		2,095		29,100	
② 人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	4,530	人工	4,560	人工	4,494	人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6	4,560	0.6	4,494	0.6
会計年度任用 (フルタイム・パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	64,623		44,557		54,893		24,555		89,594	
前年度比	—		68.9%		123.2%		44.7%		364.9%	

事務事業評価票

事務事業名	単独公園整備事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独公園整備事業費

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H28~R7
--------	--------

心と体の健康づくりの推進に寄与する場を提供するため、都市公園の整備、補植等による緑の再整備及び都市計画法第33条により生み出された未整備緑地の整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 都市公園、開発行為緑地の整備、緑の再整備  
既存の都市公園の再整備と未整備となっている開発行為緑地の整備(都市公園29件、開発行為緑地13件)  
緑の再整備(鳥獣害対策、支障木伐採、フェンス整備他)
- 大規模剪定  
島内公園ヒマラヤスギ整備 一式
- 松枯れ被害木処理(市内36公園) 一式

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 継続  
・公園施設の老朽化及び樹木の老木化が進んでいるため、計画的な改修や剪定、伐採、植栽などの対策が必要となっている。

<指標の達成状況>

		総合評価		B	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	総事業費の公園整備率				
指標の設定理由	公園施設の整備状況が直接的に把握できるため				
目標値	8.59%	16.66%	32.54%	51.38%	70.57%
実績値	8.82%	16.85%	29.06%	42.16%	51.19%
達成度	102.7%	101.1%	89.3%	82.1%	72.5%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	20,314		18,990		34,166		23,551		28,790	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	20,314		18,990		34,166		23,551		28,790	
② 人件費(千円)	9,228	人工	9,108	人工	9,060	人工	9,120	人工	8988	人工
正規	9,228	1.2	9,108	1.2	9,060	1.2	9,120	1.2	8988	1.2
会計年度任用(フルタイム・パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	29,542		28,098		43,226		32,671		37,778	
前年度比	—		95.1%		153.8%		75.6%		115.6%	

事務事業評価票

事務事業名	美しいまち松本づくり事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	美しいまち松本づくり事業費

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H5 ～
花いっぱい運動発祥の地として、第57回全日本花いっぱい松本大会及び第36回全国都市緑化信州フェアの開催を契機に、市民が地域や自宅で花や緑を装飾し、育てる活動を推進するもの また、花いっぱい運動が継続できる仕組みづくりやPRを行い、緑豊かな美しく住みよいまちづくりにつなげていくもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 第57回全日本花いっぱい松本大会及び第36回全国都市緑化フェアを契機とした継続的な取組み
2 地区、町会、育成ボランティア団体への花苗の配布(約65,000本)
3 全日本花いっぱい連盟、特定非営利活動法人街を花いっぱいにする会への支援
4 生垣設置補助事業の推進 緑豊かな景観形成、防災面からブロック塀撤去を伴う生垣設置の推進、チラシ配布による啓発(令和2年度実績:申請件数56件 うちブロック塀撤去を伴う生垣設置5件)
6 家屋新築・誕生記念樹交付事業の推進 (令和2年度実績:家屋新築記念樹423件、誕生記念樹608件)
7 オープンガーデン事業の推進 オープンガーデンガイドブックの作成、見学会等の実施

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 継続 全国都市緑化信州フェア「信州花フェスタ2019」での取り組みを継続して実施するとともに、市民が花いっぱい運動に継続して取り組む仕組みづくりを行う。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	生垣設置補助の延べ延長数				
指標の設定理由	年間通しての補助金事業の状況から市内の緑化の数値が把握できるため				
目標値(m)	920	1,840	2,760	3,680	4,600
実績値(m)	778.8	1,203	1,509	1,995	2,430
達成度	84.7%	65.4%	54.7%	54.2%	52.8%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	国・県					
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	62,680	56,116	95,748	213,296	28,190
② 人件費(千円)	正規	21,532	人工 21,252	人工 21,532	人工 21,532	人工 21,532
	会計年度任用 (フルタイム・パートタイム・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	84,212	77,368	117,280	234,828	49,722	
前年度比	—	91.9%	151.6%	200.2%	21.2%	

# 住宅課

課長 高野 敬吾

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	管理不全空き家等対策
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	管理不全空き家等対策費

<事業の狙い>

事業計画年度

H26~

「松本市空き家等の適正管理に関する条例」及び「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、管理が不十分な空き家・空き地に対して、所有者等に適切な管理を促し、安全で安心な魅力あるまちづくりを進めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 管理不全空き家等の適正管理助言・指導  
 隣の空き家の草木が繁茂して困っているなどの相談を受け、空き家の所有者を探し、所有者等に対し適正な管理を促すための助言・指導をするもの(令和3年1月31日現在)  
 (1) 管理不全な空家に対する、市民からの相談対応件数 28件  
 (2) (1)のうち、草木の刈取り等、空き家の管理不全が解決した数 2件

2 所有者からの空き家の利活用、処分方法についての電話相談 (81件)(令和3年1月31日現在)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止  
 ・空き家の所有者等に連絡が取れない、所有者が不明、相続人等の不在の案件が多く、対応に苦慮している。  
 ・平成31年3月に策定された松本市空家等対策計画により、他部局との連携、あるいは各種団体、専門家との連携を図り、総合的に進めることが必要。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	相談対応件数(目標値)のうち、管理不全な空き家の所有者等に助言・指導等を実施した件数(実績値)				
指標の設定理由	対応が必要な空き家に対する適正管理指導の指標となるため。				
目標値	35	53	39	52	28
実績値	35	53	38	45	25
達成度	100.0%	100.0%	97.4%	86.5%	89.3%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	45		40		0		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	45		40		0		0		0	
② 人件費(千円)	8,844	人工	8,729	人工	8,683	人工	8,844	人工	8,613.5	人工
正規	8,844	1.15	8,729	1.15	8,683	1.15	8,844	1.15	8,613.5	1.15
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	8,889		8,769		8,683		8,844		8,614	
前年度比	—		98.6%		99.0%		101.9%		97.4%	

事務事業評価票

事務事業名	空き家対策事業
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	空き家対策事業費

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H27～
--------	------

近年増加傾向にある空き家について、適切な管理や、発生させにくい環境づくり、利活用の促進を図るため、総合的かつ計画的に取組みを進める「松本市空家等対策計画」に基づき、空き家対策を推進する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本市空家等対策協議会の開催  
松本市空家等対策計画の実施に関する協議を行うため、法務、不動産、建築などの専門家で構成した協議会を開催し、空き家対策に関する意見聴取を行い空き家対策を進めるもの。(専門家等の学識経験者16名で構成)
- 空き家相談  
空き家等の総合相談窓口でワンストップによる相談受付(令和2年度件数200件)  
相談内容は活用や管理不全等、多岐にわたるため庁内関連部署と連携し対応
- 令和2年度の取組み
  - 空き家バンクへの登録物件を増やす施策として「I LIVE In松本」として実施。登録件数 令和元年度 7件 令和2年度21件
  - 「I LIVE In松本」の施策として、希望する空き家所有者へ空き家診断士を派遣し、建物調査を行い、空き家の利活用についてコーディネートを行う。
  - 空き家バンクへの登録等を条件とし、空き家改修費、家財処分費に一部を助成。また、危険空き家に該当した物件への除却費の一部を助成。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
空き家の適切な管理や処分を促すとともに、移住者等が空き家を利活用できるように(更なる対策)→移住者及び子育て世代の利用しやすく、空き家バンクの利用促進が見込める新たな補助メニューを検討していく。

<指標の達成状況>

		総合評価		B	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれていると思う市民の割合				
指標の設定理由	まちなみにそぐわない空き家等の整理・利活用を促進するため。				
目標値	80.8	80.8	80.8	80.8	80.8
実績値	80.8	-	79.2	-	-
達成度	100.0%	-	98.0%	-	-
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		1,209		1,440		1,558	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源					1,209		1,440		1,558	
② 人件費(千円)	846	人工	2,581	人工	2,567	人工	4,180	人工	4,119.5	人工
正規	846	0.11	2,581	0.34	2,567	0.34	4,180	0.55	4,119.5	0.55
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	846		2,581		3,776		5,620		5,678	
前年度比	-		305.1%		146.3%		148.8%		101.0%	

事務事業評価票

事務事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)
-------	-----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度	H15~R2
--------	--------

老朽化した市営住宅を建替えることにより、密集した住宅街を解消し、防災上安全な住宅街にするとともに、ユニバーサルデザインに配慮した住宅を建設する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市営住宅団地建替事業  
(概要)

1 寿団地建替

(1) 密集した住宅街の解消、防災上安全な住宅街の確保、ユニバーサルデザインに配慮した住宅

(2) 国土交通大臣の承認を受けた法定建替事業

(3) 事業計画

H15~H22年度 A街区整備 4棟125戸建設

H23~R元年度 B街区整備 5棟111戸建設

R2年度 B-3、B-4棟の外構整備

(4) 事業費

約25億8百万円

(5) 令和2年度までの実績

B街区 B-3、B-4棟の外構整備完了

2 芳野町団地建替

(1) 平成11年度に計画された4棟のうち1棟(40戸)

(2) 公営住宅等長寿命化計画では、10年後の市営住宅必要戸数が充足されているため計画を当面凍結

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続(縮小)・廃止

令和2年度で寿団地建替事業が完了した。

今後、建物状況を確認していく中で、公営住宅等長寿命化計画における改修、建替え及び解体等の整備計画を見直していきます。

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年	令和2年度
① 成果指標(指標名)	寿団地建替戸数				
指標の設定理由	事業の進捗状況を直接的に把握できるため。				
目標値	146	161	188	236	外構整備
実績値	146	161	188	236	外構整備
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	391,398	353,348	683,295	784,720	59,840
国・県	192,986	176,356	304,044	360,745	24,760
利用者負担金					
その他				360,500	24,700
一般財源	198,412	176,992	379,251	63,475	10,380
② 人件費(千円)	7,690	7,590	7,550	7,600	7,490
正規	7,690	7,590	7,550	7,600	7,490
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	399,088	360,938	690,845	792,320	67,330
前年度比	—	90.4%	191.4%	114.7%	8.5%

事務事業評価票

事務事業名	地域住宅等整備事業
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅耐震化事業

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28～R2
松本市耐震改修促進計画及び松本市公営住宅等長寿命化計画に基づき、現在の建築基準法等の耐震関係規定に適合しない耐震不足の市営住宅を順次廃止していくもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 耐震不足等の市営住宅を順次用途廃止するため、当該居住者の住替え先住戸を改修し、居住者の移転費用を負担することにより事業を推進するもの。
(1) 移転交渉、移転補償及び移転先住戸の改修
ア 移転対象者(対象住宅入居者)
二子団地86戸、寿団地1丁目53戸、寿団地3丁目15戸 計154戸
イ H28移転戸数
二子団地35戸、寿団地1丁目36戸、寿団地3丁目2戸 計36戸
(2) 耐震不足住宅の解体及び用地測量
ア 解体対象戸数 306戸 →150戸(156戸解体済み)
イ R2解体戸数 83戸
ウ 用地測量 寿団地(1丁目の一部)、四ツ谷団地、沢渡住宅を実施

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止
廃止にあたっては、対象者が移転先として希望する既存市営住宅の改修を行い、順次移転を行っています。
今後は移転対象者が希望する団地に空きがない等の理由により、移転が進まない場合も考えられるため、きめ細やかな対応により移転先を決定し事業を推進する必要があります。また、解体可能となった団地は速やかに解体、測量を行い跡地利用を検討します。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年度末における移転完了戸数(戸)				
指標の設定理由	公営住宅の災害に対する備えについての指標となるため				
目標値	84	114	140	150	154
実績値	75	116	134	148	166
達成度	89.3%	101.8%	95.7%	98.7%	107.8%
② 成果指標(指標名)	年度末における解体戸数(戸)				
指標の設定理由	公営住宅の災害に対する備えについての指標となるため				
目標値		4	1	100	201
実績値		4	1	68	83
達成度		100.0%	100.0%	68.0%	41.3%

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	68,641	36,028	33,032	156,997	161,126
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	68,641	36,028	33,032	156,997	161,126
② 人件費(千円)	25,065	24,504	24,420	24,588	24,288
正規	23,070	22,770	22,650	22,800	22,470
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	1,995	1,734	1,770	1,788	1,818
人工	3	3	3	3	3
人工	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6
合計コスト①+②	93,706	60,532	57,452	181,585	185,414
前年度比	—	64.6%	94.9%	316.1%	102.1%



事務事業評価票

事務事業名	市営住宅管理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅管理費

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	26～
--------	-----

指定管理者制度を導入し、民間の運営ノウハウ等による市民サービス向上を図り、住宅に困窮している低額所得者に低廉な家賃で住宅を提供するもの  
平成31年度から公営住宅について管理代行制度を導入しワン・ストップ・サービスが可能となり入居希望者へのサービス向上を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 指定管理者制度の導入による市営住宅管理運営業務  
市営住宅管理戸数 2,898戸

(1) 内訳

ア 公営住宅	37団地	274棟	2,715戸
イ 特定公共賃貸住宅	6団地	16棟	104戸
ウ 特定目的住宅	16団地	34棟	61戸
エ 再開発住宅	1団地	1棟	18戸

2 管理代行・指定管理者  
長野県住宅供給公社  
平成31年4月1日～令和6年3月31日まで

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
市営住宅の運営管理業務委託にじてからは、ワン・ストップ・サービスで行えるため、入居希望者にはスムーズな対応ができています。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年度末における入居戸数(戸)				
指標の設定理由	住宅の有効利用について指標となるため				
目標値	2,881	2,892	2,918	2,898	2,898
実績値	2,339	2,280	2,240	2,225	2,172
達成度	81.2%	78.8%	76.8%	76.8%	74.9%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	152,573		152,572		153,750		159,900		164,210	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	152,573		152,572		153,750		159,900		164,210	
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,307	人工	2,280	人工	0	人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3	2,280	0.3	0	
会計年度任用 (フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計コスト①+②	154,880		154,849		156,057		162,180		164,210	
前年度比	—		100.0%		100.8%		103.9%		101.3%	

事務事業評価票

事務事業名	用地施設管理事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	用地施設等管理費

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	17~R2
--------	-------

福寿草ヶ丘団地及び神林住宅用地の未分譲地に繁殖する雑草を除去するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 福寿草ヶ丘団地及び神林住宅用地の未分譲地に繁殖する雑草を除去するための草刈り業務委託

(1) 福寿草ヶ丘団地  
 ア 未分譲地 10区画(全50区画) 約 3,250㎡  
 イ 緑地帯 約 900㎡

(2) 神林住宅用地(H29年度追加)  
 ア 未分譲地 3区画(全13区画) 約 1,100㎡  
 イ 緑地帯 約 150㎡

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
 分譲地の良好な住環境を維持し販売促進を図るため、引き続き維持管理を行う。

<指標の達成状況>

		総合評価		B	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	福寿草ヶ丘団地販売区画数(区画)				
指標の設定理由	分譲地の良好な住環境を維持し販売促進を図る				
目標値	50	50	50	50	50
実績値	39	39	40	40	40
達成度	78.0%	78.0%	80.0%	80.0%	80.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	108	258	263	272	2,830
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	108	258	263	272	2,830
② 人件費(千円)	2,307	人工 3,036	人工 3,076	人工 3,040	人工 0
正規	2,307	0.3 3,036	0.4 3,076	0.4 3,040	0.4 0
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0 0	0 0	0 0	0 0
合計コスト①+②	2,415	3,294	3,339	3,312	2,830
前年度比	—	136.4%	101.4%	99.2%	85.4%

事務事業評価票

事務事業名	市営住宅営繕
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅営繕費

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H15~
--------	------

市営住宅の不良個所の修繕及び設備改修等の営繕工事を行うことにより、建物の保全と安全を確保するとともに、住宅の延命化を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 市営住宅の維持管理のため、営繕工事等を行うもの。

(1) 市営受託管理戸数 2,898戸

(2) 内訳

ア 公営住宅	37団地	274棟	2,715戸
イ 特定公共賃貸住宅	6団地	16棟	104戸
ウ 特定目的団地	16団地	34棟	61戸
エ 再開発住宅	1団地	1棟	18戸

2 営繕対象戸数 2,712戸  
耐震不足等による解体予定住宅の空家戸数279戸

3 既存住宅改修事業  
風呂釜・量水器・揚水ポンプ等更新、屋根外壁塗装改修等

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止

高度成長期に建設された市営住宅の老朽化が進み、既存住宅のストックマネジメントがますます重要となっています。

限られた予算で計画的な営繕工事に心掛けていきます。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年度末における営繕対象住宅への入居戸数					
	指標の設定理由	計画的な営繕工事の指標となるため				
	目標値	2,701	2,657	2,643	2,592	2,387
	実績値	2,339	2,277	2,237	2,222	2,202
	達成度	86.6%	85.7%	84.6%	85.7%	92.2%
② 成果指標(指標名)						
	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	9,966	40,198	60,042	60,080	62,350	
	国・県					
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	9,966	40,198	60,042	60,080	62,350
② 人件費(千円)	6,523	人工 29,239	人工 32,890	人工 33,112	人工 32,670	
	正規	5,383	0.7 28,083	3.7 31,710	4.2 31,920	4.2 31,458
	会計年度任用(アルバイト、パート等)	1,140	0.4 1,156	0.4 1,180	0.4 1,192	0.4 1,212
合計コスト①+②	16,489	69,437	92,932	93,192	95,020	
前年度比	—	421.1%	133.8%	100.3%	102.0%	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	三世代家族支援事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	三世代家族支援事業

<事業の狙い>

事業計画年度

29～R2

豊かな持続可能なまちづくりを目指し、定住人口の増加やバランスの取れた人口構成の実現及び地域の活性化として、世代間で支え合う機能を維持するため三世代同居・近居を推進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

三世代同居・近居のための住居取得費用の一部補助、住宅取得費用の一部補助、住宅リフォーム費用及び引越し等の費用支援を行い、本市への転入による定住人口の増加や多世代同居のきっかけづくりを推進する。

1 補助金別申請件数

- (1) 住宅取得補助金 (同居・近居のための住宅取得)
  - 同居(補助率1/10 補助限度額50万円) 15件
  - 近居(補助率1/10 補助限度額25万円) 22件
- (2) リフォーム補助金 (同居のための住宅リフォーム)
  - 同居(補助率1/10 補助限度額20万円) 10件
- (3) 家族奨励補助金 (同居・近居のための引っ越し費用等)
  - 同居(補助率10/10 補助限度額20万円) 6件
  - 近居(補助率10/10 補助限度額10万円) 8件

※ 市外からの転入及び市分譲(JKタウン、福寿草)を取得した場合には補助限度額にそれぞれ20万円を加算(最大90万円、(3)を除く)

アンケート結果

- ・補助金が同居等のきっかけになった 36.8%
- ・生きがいづくりに繋がると思う 92.8%

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・**廃止**

平成29年度から令和元年度までの3年間として計画したものを令和2年度までの1年間を延長し、一定の効果が得られたため、令和3年度からは廃止する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	補助金申請件数				
指標の設定理由	三世代同居・近居のきっかけづくりを推進する				
目標値		30	120	125	100
実績値		60	92	72	60
達成度		200.0%	76.7%	57.6%	60.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		19,947		35,440		24,790		13,000	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			19,947		35,440		24,790		13,000	
② 人件費(千円)	0	人工	3,795	人工	3,845	人工	3,800	人工	0	人工
正規	0	0	3,795	0.5	3,845	0.5	3,800	0.5	0	
会計年度任用 (フルタイム、パートタイム・2類)	0	0	0		0		0		0	
合計コスト①+②	0		23,742		39,285		28,590		13,000	
前年度比	—		—		165.5%		72.8%		45.5%	

事務事業評価票

事務事業名	市営住宅ストック総合改善事業
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H15~

市営住宅の建物・設備の延命及び良質なストック改善を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市営住宅ストック改善事業  
(概要)

- 受水槽改修  
老朽化した受水槽を計画的に改修するもの。
- 結露対策工事  
市営住宅の結露として外壁の外断熱工事を行うもの。
- 防水保護層改修  
市営住宅の雨漏りを防ぐため屋根、ベランダの防止工事を行うもの。
- 年間事業費  
1億5百万円

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止  
既存住宅のストックマネジメントが重要となっています。限られた予算で計画的な改修を進めています。  
国からの安定的な財源確保が課題となっている。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	交付金対象事業延べ工事棟数				
指標の設定理由	事業の成果を直接に把握できるため。				
目標値	46	55	61	69	77
実績値	46	62	68	77	84
達成度	100.0%	112.7%	111.5%	111.6%	109.1%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	93,132		160,935		57,888		59,510		105,248	
国・県	24,187		64,181		23,677		24,020		38,686	
利用者負担金										
その他										
一般財源	68,945		96,754		34,211		35,490		66,562	
② 人件費(千円)	4,614	人工	7,590	人工	2,642.5	人工	2,888	人工	4,868.5	人工
正規	4,614	0.6	7,590	1	2,642.5	0.35	2,888	0.38	4,868.5	0.65
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	97,746		168,525		60,531		62,398		110,117	
前年度比	—		172.4%		35.9%		103.1%		176.5%	

# 建築指導課

課長 板倉 勝

事務事業評価票

事務事業名	開発許可事務
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	開発行為許可事務費

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
1 都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画マスタープランや立地適正化計画等のまちづくりの将来像を示す内容を実現する手段の一つとして、適正な都市的土地利用の実現を行うもの 2 今後発生が予想される大地震時の地盤変動が要因となって、宅地の地すべり被害が生ずるおそれのある大規模盛土造成地の把握と安全性の確認		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
【事業実施内容】 都市計画法(昭和43年法律第100号)の規定による開発行為等の許可
【活動指標(実績値)】 開発行為等許可等の件数 357件

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止 人口減少高齢化の進展により、空き家等の発生、将来的なインフラの維持・修繕・更新に係るコストの増大等の懸念が生じている。そのため、コンパクトシティを形成していく必要性が高まっていることから、開発許可制度はまちづくりの将来像を実現する手段として重要となってきている。 大規模盛土造成地の安定性の評価が必要

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	開発行為等許可等の件数 申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由	-				
目標値					
実績値	387	434	421	399	357
達成度	-	-	-	-	-
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	4,013	2,696	230	3,310	3,194
国・県		853			2,992
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,013	1,843	230	3,310	202
② 人件費(千円)	33,610	33,256	33,610	33,380	32,990
正規	30,760	30,360	30,760	30,400	29,960
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	2,850	2,896	2,850	2,980	3,030
人工	4	4	4	4	4
人工	1	1	1	1	1
合計コスト①+②	37,623	35,952	33,840	36,690	36,184
前年度比	-	95.6%	94.1%	108.4%	98.6%

事務事業評価票

事務事業名	建築物耐震補強促進事業
-------	-------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	建築物耐震補強促進事業費

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H16～R7
建築物の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを推進するため、旧耐震基準の木造住宅等の耐震診断実施や耐震改修の補助を行います。 また、松本市耐震改修促進計画を踏まえ、要緊急安全確認大規模建築物や避難路沿道建築物の耐震化促進を図ります。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
【事業実施内容】
1 木造住宅耐震診断、木造住宅耐震改修、避難施設耐震診断等補助 R2年度実績
・木造住宅耐震診断 31件
・木造住宅耐震改修 7件
・避難施設耐震診断 0件
2 要緊急安全確認大規模建築物の公表
3 避難路沿道建築物調査に基づく義務化路線の検討
【活動指標(実績値)】
1 住宅の耐震化率 88.8%

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止
市民が安全で安心して暮らせるまちをつくるため、既存建築物の耐震化を進めることにより、地震から市民の生命、財産を守る事業を継続していきます。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	住宅の耐震化率				
指標の設定理由	耐震化の状況を直接的に測定できるため				
目標値	83.0	85.0	87.0	89.0	90.0
実績値	82.2	82.7	83.3	83.8	88.8
達成度	99.0%	97.3%	95.7%	94.2%	98.7%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	18,870	18,085	20,825	13,553	8,123					
国・県	11,132	11,693	12,570	9,201	5,561					
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,738	6,392	8,255	4,352	2,561					
② 人件費(千円)	7,536	人工	7,438	人工	7,536	人工	7,448	人工	7,340	人工
正規	7,536	0.98	7,438	0.98	7,536	0.98	7,448	0.98	7,340	0.98
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	26,406	25,523	28,361	21,001	15,463					
前年度比	—	96.7%	111.1%	93.9%	73.6%					



事務事業評価票

事務事業名	狭あい道路対策事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	狭あい道路対策事業費

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H24～R7
--------	--------

安全で良好な生活環境の向上を図るため、松本市狭あい道路の拡幅整備に関する条例(平成24年条例第29号)に基づき、都市計画区域内にある市道の狭あい道路(幅員1.8m以上4m未満)を対象に、建築行為などの際に、後退用地についての協議を義務付け、拡幅整備に必要な経費の一部を市が負担し、狭あい道路の拡幅整備の促進を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【事業実施内容】

- 1 拡幅整備に必要な経費の一部を市が負担し、狭あい道路整備の促進を図るもの
- 2 建築確認申請時等に協議を行い、道路後退用地の測量登記と物件補償(補助金)後に道路整備を行い、道路環境を改善

【活動指標(実績値)】

- 1 寄附率 22%

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 (拡充)・継続・縮小・廃止  
住宅等建築の際に協議を行い、後退用地の寄付をお願いしているが、寄附率が伸び悩んでいる状況である。  
対象区域を市街化調整区域に拡張し、事業を進めていく。

<指標の達成状況>

総合評価	D
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	寄附率				
指標の設定理由	狭あい道路の拡幅状況を直接測定できるため				
目標値	45.0	46.0	47.0	49.0	50.0
実績値	30	15	29	22	11
達成度	66.7%	32.6%	61.7%	44.9%	22.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	19,930	13,821	19,495	14,771	16,565
国・県	3,800	1,707	1,000	994	1,500
利用者負担金					
その他					
一般財源	16,130	12,114	18,495	13,777	15,065
② 人件費(千円)	1,538	1,518	1,538	1,520	1,498
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,498
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)					0
合計コスト①+②	21,468	15,339	21,033	16,291	18,063
前年度比	—	71.5%	137.1%	77.5%	110.9%

事務事業評価票

事務事業名	建築確認事務
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	建築確認事務費

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	市長公約	主な取り組み			
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

国民の生命、健康及び財産の保護を図るため、建築基準法第6条に定められた敷地、構造、設備等に適合する建築物であることを、建築主からの申請又は通知により建築主事が確認し、確認済証を交付する他、建築許可証の交付等を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【事業実施内容】  
 指導審査担当の業務を行うための事務費等  
 1 費用弁償(建築審査会その他開催に伴う委員等の車賃)  
 2 普通旅費(職員出張に伴う鉄道賃、宿泊料及び日当)  
 3 消耗品費(図書追録、各種法令集、各種事務用品、法改正等により業務上必要な参考図書)  
 4 手数料(税金等窓口収納手数料)  
 5 借上料(建築情報管理システム用サーバー機器一式)  
 6 委託料(建築情報管理システム再構築、建築情報管理システム保守、指定道路図管理システム保守、指定道路図作成)

【活動指標(実績値)】  
 1 確認済証交付件数 78件  
 2 許可証交付件数 85件

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
 確認申請の9割を民間建築確認機関が行う現状の中で、数少ない市の建築確認業務を適切に行い、違反是正、定期報告、民間建築確認機関の監視等の行政庁でなければ出来ない業務に生かして行く事が大切である。

<指標の達成状況>

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	確認済証交付件数 申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由	-				
目標値	-	-	-	-	-
実績値	135	108	80	86	78
達成度	-	-	-	-	-
② 成果指標(指標名)	許可証交付件数 申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由	-				
目標値	-	-	-	-	-
実績値	84	64	92	66	85
達成度	-	-	-	-	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	5,007	1,599	1,850	14,220	8,501
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,007	1,599	1,850	14,220	8,501
② 人件費(千円)	42,987	42,428	42,205	42,484	41,869
正規	42,987	5.59	42,428	5.59	42,205
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	47,994	44,027	44,055	56,704	50,370
前年度比	-	91.7%	100.1%	128.7%	88.8%

事務事業評価票

事務事業名	アスベスト飛散防止対策事業
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	アスベスト飛散防止対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	R1 ~
--------	------

飛散性の高い吹付アスベストの大気中への粉塵の排出及び飛散を防止するため、建築物所有者等が行うアスベストの含有調査・除去費用に対して補助金を交付するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【対象要件等】令和2年度までの時限事業

1 対象

(1) アスベスト含有量調査費  
吹付け建材が使用されている建築物

(2) アスベスト除去工事費  
多数の者が利用する建築物で、多数の者が共同で利用する部分において露出して吹付けアスベストが使用されている建築物

2 補助率

(1) アスベスト含有量調査費  
補助率10/10(国費10/10)  
(限度額25万円)

(2) アスベスト除去工事費  
補助率2/3(国費1/3、県費1/6、市費1/6)  
(限度額800万円かつ22千円/㎡以内)

【活動指標(実績値)】  
アスベスト飛散防止対策件数 令和元年度1件・令和2年度0件  
アスベスト含有調査件数 令和元年度2件・令和2年度2件

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 (継続) 縮小・廃止

アスベスト除去工事については、工事費用が高額となるケースが多く、自己負担もあることから申請件数が少なく、数値目標の達成が困難な状況にある。  
しかしながら、近年のアスベスト健康被害に関する報道等を受け全国的に関心が高まっており、市民の健康被害を防ぎ、安心・安全な暮らしを守るためにも、要望があった際には対応できるよう、制度を維持していきたい。

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価	C				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	アスベスト飛散防止対策件数				
指標の設定理由	進捗状況が直接的に測れるため				
目標値	-	-	-	1	1
実績値	-	-	-	1	0
達成度	-	-	-	100.0%	0.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	0	0	0	8,200	100
国・県				6,200	100
利用者負担金					
その他					
一般財源				2,000	0
② 人件費(千円)	0	0	0	304	299.6
正規	0	0	0	304	0.04
会計年度任用(フルタイム、パート含む・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	0	0	0	8,504	400
前年度比	-	-	-	-	4.7%

事務事業評価票

事務事業名	ブロック塀対策事業
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	建築物耐震補強促進事業費

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	R1 ~ R2
危険なブロック塀等の倒壊による通行人の被害を未然に防止し、その安全を確保するため、所有者が行うブロック塀等を撤去する事業に対し、補助金を交付するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
【対象要件等】
1 対象 避難路の沿道等又は避難地と避難地に隣接する敷地との境界に面する高さ 80cm以上のブロック塀等の内、耐震診断により危険と判定されたもの
2 補助率 塀の長さ×14,000円/m(基礎無5,000円/m)と業者見積のいずれか低い方の額の2/3(国費1/3、市費1/3) (限度額10万円)
【活動指標(実績値)】 ブロック塀対策力所数 32カ所

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止 昨年度と比較すると申請件数は増加しているが、達成度はまだまだ低い状態である。社会資本整備総合交付金の継続事業として、来年度以降も実施していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	D			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	ブロック塀対策力所数				
指標の設定理由	進捗状況が直接的に測れるため				
目標値	-	-	-	100	100
実績値	-	-	-	22	32
達成度	-	-	-	22.0%	32.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	0	0	0	1,458	1,863
国・県				729	931
利用者負担金					
その他					
一般財源				729	932
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	912
正規	0	0	0	912	0.12
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	0	0	0	2,370	2,762
前年度比	-	-	-	-	116.5%